

障害児支援の取組について

I 障害のある子どもや医療的ケアが必要な子どもの支援ハンドブック等の作成について

(令和元年度 こども家庭局 拡充予定事業)

1. 趣旨

乳幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの各段階における子どもの発達や障害に関する相談窓口や各種支援制度に関する情報を整理して、これらを一元的に閲覧できるハンドブック及びホームページを作成することにより、障害のある子どもや医療的ケアが必要な子ども及びその家族、支援関係者等へのわかりやすい情報提供を行い、支援の充実を図る。

※子育て応援サイト・ガイドブック「ママフレ」の機能拡充という位置づけで実施予定

2. 内容 (予定)

以下の相談窓口や支援制度等についての情報を整理して、掲載する予定

※相談窓口については、所管部署名・連絡先・所在地・対応可能時間等を掲載予定

※支援制度については、制度の内容、利用対象者、利用方法等を掲載予定

窓口名称	対応内容・支援制度等
各区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や育児に関する相談、乳幼児健診等 ・保育所等の利用 (すこやか保育含む) ・障害者手帳 (身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳) ・障害福祉サービスの利用等 ・医療費助成 (未熟児、小児慢性特定疾病、指定難病、重度障害者、自立支援医療) ・特別児童扶養手当、障害児福祉手当
こども家庭センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関する様々な相談、障害児入所施設の利用
療育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの障害に関する相談・診察・訓練 ・神戸市が設置する児童発達支援センターの利用
発達障害者相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・15歳以上の発達障害者や家族の相談
障害児相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援給付にかかる障害児支援利用計画の作成 ・障害児に関する一般相談
障害者地域生活支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者の生活全般についての相談
こうべ学びの支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害及びその可能性のある児童生徒についての相談
特別支援教育課教育相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教育的支援を必要とする子どもについての相談
通級指導教室	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小・中学校の通常の学級及び高等学校に在籍する発達障害等のある子どもに対する指導・支援

3. スケジュール (予定)

2019年4月～ 掲載情報等の整理・内容検討

2020年2月頃 ハンドブック・ホームページ完成

関係機関への配布・案内

II 母子保健事業における発達障害児への支援について

1. 乳幼児健診における早期発見・早期支援

各区において、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査（以下「幼児健診」という。）の際、問診によるスクリーニングを行い、児童に発達障害の特徴があったり保護者が発達に不安を感じている場合等に、臨床心理士や特別支援教育士による精神発達相談を実施している。また、乳幼児健診後や保護者から相談があるなど個別に支援が必要な場合には、保健師が家庭訪問や電話により継続支援している。

【健診時の育児相談及び精神発達相談件数】

(1) 1歳6か月児健診

	対象児数	受診児数	受診率	育児相談数・実施率		精神発達相談数・実施率	
平成28年度	12,297	12,061	98.1%	11,819	98.0%	991	8.2%
平成29年度	12,043	11,824	98.2%	11,549	97.7%	1,069	9.0%
平成30年度	11,528	11,357	98.5%	11,150	98.2%	1,009	8.9%

(2) 3歳児健診

	対象児数	受診児数	受診率	育児相談数・実施率		精神発達相談数・実施率	
平成28年度	12,125	11,892	98.1%	11,578	97.4%	964	8.1%
平成29年度	12,177	11,855	97.4%	11,514	97.1%	954	8.0%
平成30年度	12,179	11,927	97.9%	11,596	97.2%	995	8.3%

2. 要フォロー子育て教室

幼児健診において発達等のフォローが必要とされた児童と保護者を対象に、保健師・保育士・特別支援教育士・臨床心理士等による子育て教室を開催し、設定遊び・自由遊び・親支援等を通じて、不安や悩みの解消、仲間づくりを支援している。

〔平成30年度実績〕 ※参加児数は延べ人数

	東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	北須磨	垂水	西	合計
開催回数	35	24	36	23	24	22	22	23	23	28	23	283
参加児数	491	498	304	157	161	174	134	144	138	185	303	2,689

3. 発達支援のための個別専門相談

幼児健診等において発見された発達障害またはその疑いのある児童やその保護者等を対象に、特別支援教育士・臨床心理士・保健師等により、具体的な関わり方の指導・助言を行う。

〔平成30年度実績〕 ※相談児数は延べ人数

	東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	北須磨	垂水	西	合計
相談児数	30	31	84	20	18	15	17	20	11	16	50	312

こども家庭センターにおける障害児相談の状況について

こども家庭センター

1. こども家庭センターにおける障害児相談の状況

＜相談件数・処理件数の推移＞

(単位:件)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (速報値)
総相談件数	6,781	7,087	7,662	7,956	8,547
障害相談件数	4,747	4,969	5,250	5,142	5,376
障害処理件数	4,534	4,770	5,345	5,205	5,334

こども家庭センターでは、児童福祉司（ケースワーカー）と児童心理司（心理判定員）が連携して子どもを総合的に診断して支援・指導している。障害相談は、センターの相談件数の65%程度を占めている。

近年の障害児相談件数の増加に対して、平成26年度からは待機期間の短縮を図ることを目的として「障害児相談・検査専任チーム（専任チーム）」を設置。相談件数が高止まりの状況である中、平成30年度末現在の待機期間は平均2.4ヶ月となっている。

2. 令和元年度の障害相談の体制

平成28年度に専任チームを増員し、併せて隣接するハーバーランドセンタービル8階にこども家庭センター分室を設置して相談室等の拡充。平成29年度には分室をさらに拡充し、同ビル9階部分に障害相談部門を一元化して移転。新たに相談室等も10室増設した。

令和元年度は、各関係機関と連携しながら発達検査を円滑に進め、待機期間短縮を図るとともに、お待ちいただいている間の保護者のご不安・ご心配に寄り添いながら、相談体制を強化していきたい。

特別支援教育の現状

1. 市立特別支援学校の児童生徒数（分校・分教室・訪問学級を含む）

（単位：人、各年度5月1日現在）

年度	盲 (視覚)	友生 (知・肢・病)	青陽東 (知)	青陽須磨 (知・肢)	垂水 (肢)	青陽西 (知)
26	39	171 (知 75) (病 17)	214	288 (260)	109	138
27	37	225 (知 110) (病 28)	221	290 (261)	104	144
28	37	240 (知 132) (病 18)	217	306 (272)	97	159

年度	盲 (視覚)	友生 (知・肢・病)	青陽東 (知)	青陽須磨 (知・肢)	いぶき明生 (知・肢)
29	38	271 (知 157) (病 20)	194	312 (274)	276 (176)
30	40	284 (知 161) (病 21)	179	295 (260)	316 (220)
元	32	285 (知 163) (病 28)	194	279 (241)	340 (240)

※青陽須磨、いぶき明生の（ ）内数字は、知的部門の内訳。

※平成 29 年 4 月、垂水養護学校と青陽西養護学校を西区に統合・移転し、青陽須磨支援学校と 3 校で通学区域を再編、いぶき明生支援学校を開校

2. 市立小中学校の特別支援学級設置状況

(各年度5月1日現在)

年度	小学校		中学校		合計		平均 在籍数
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童生徒	
26	330	1,076	136	420	466	1,496	3.21
27	349	1,168	142	460	491	1,628	3.32
28	366	1,268	148	455	514	1,723	3.35
29	384	1,394	147	457	531	1,851	3.49
30	400	1,470	153	479	553	1,949	3.52
元	400	1,536	164	517	564	2,053	3.64

※特別支援学級に在籍する児童生徒のうち、「知的障害」「自閉症・情緒障害」学級の児童生徒は約94%を占めている。

3. 通級指導教室の状況

(1) 幼児児童生徒数

(単位：人、各年度5月1日現在)

年度	きこえとことばの教室 (難聴・言語障害)		そだちとこころの教室 (自閉症・情緒障害)			学校生活支援教員 (LD・ADHD等)		合計
	幼児	小学生	幼児	小学生	中学生	小学生	中学生	
26	113	224	58	135	35	33	8	606
27	135	255	60	150	28	31	15	674
28	140	293	58	148	32	43	18	732
29	130	280	55	157	21	43	19	705
30	187	320	69	157	46	43	19	841

※ 平成26年度12月、北神に「道場教室(きこえとことばの教室)」を開設(計8教室)
 平成27年度、「自閉症通級指導教室」を「そだちとこころの教室」に改称
 平成28年度、西区に「竹の台教室(そだちとこころの教室)」を開設(計6教室)

(2) 高等学校通級指導教室

平成30年度は高等学校通級指導担当者2名を竜が台通級指導教室に配置し、1年生を対象として調査研究・体験通級(2名)を行った。令和元年度は、高校1・2年生を対象として実施している。

(対象となる生徒)

- ・保護者、本人、在籍校との合意形成した神戸市立高校生
- ・下記の障害あるいはその傾向により学習上または生活上に困難のある生徒

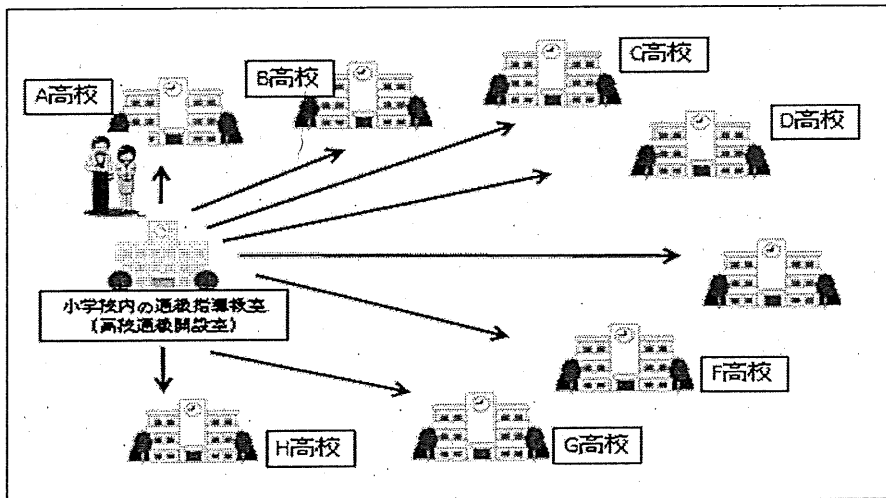
LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、自閉症

(指導形態)

- ・巡回による指導

(指導内容)

- ・個別学習またはグループ学習
- ・実態把握をもとに個別の指導計画を作成し指導する。(自立活動)



4. 障害のある幼児の入園状況（市立幼稚園）（単位：人、前年度1月末現在）

年度	知的障害	発達に関わる事項	自閉症・情緒障害	その他障害	合計
25	25	203	45	35	308
26	40	238	19	23	320
27	31	250	59	22	362
28	33	347	36	27	443
29	19	311	39	19	388
30	55	251	34	55	395
元	38	290	42	20	390

5. 特別支援学校の動向

- ①平成 21 年 4 月、青陽須磨支援学校を開校
- ②平成 24 年 4 月、青陽須磨支援学校に肢体不自由部門を設置
- ③平成 25 年 4 月、友生養護学校を友生支援学校として兵庫区に移転し、肢体不自由部門に加え、知的障害部門を設置。友生養護学校の北校舎に友生支援学校住吉分校を設置
- ④平成 25 年 4 月、県立神戸特別支援学校（北区）が肢体不自由部門を設置、校区を再編
- ⑤平成 27 年 4 月、県立芦屋特別支援学校に東灘区 3 中学校区の小学・中学・高等部を受入れ
- ⑥平成 28 年 4 月、友生支援学校病弱部門をこども病院分教室（小・中）と訪問学級（わらび学級）として設置
- ⑦平成 29 年 4 月、垂水養護学校と青陽西養護学校を西区に統合・移転し、青陽須磨支援学校と 3 校で通学区域を再編、いぶき明生支援学校を開校
- ⑧平成 29 年 4 月、兵庫県が西神戸高等特別支援学校を農業公園内(西区)に開校
- ⑨平成 29 年 4 月、児童生徒数増加のため、友生支援学校に仮設校舎を整備
- ⑩平成 33 年 4 月開校に向けて、H A T 神戸地域内に知肢併置の特別支援学校を小学校と併設して整備予定

こうべ学びの支援センターについて

通常の学級に在籍している学習や生活などに困難さがあり発達障害及びその可能性のある児童生徒に対する学校の支援体制の充実を図るために、平成 16 年 4 月より「こうべ学びの支援センター」を開設している。

(1) 事業概要

① 相談

臨床心理士・公認心理師等の専門の相談員と通級指導担当教員等により、保護者や学校からの相談に対応するとともに、子供の観察及び発達検査、読み書き検査などによるきめ細かな実態把握をする。その後、保護者に結果等の説明を行う。

② 医療教育相談

必要に応じて医療教育相談員より児童生徒面接、保護者面接により総合的な特性判断及び保護者、学校へのアドバイスをを行う。

③ 学校巡回

実態把握や医療教育相談の内容、集約した情報をもとに、学校への巡回相談を行う。支援の方向性や具体的な指導方法を助言したり、個別の指導計画作成のためのアドバイスをしたりする。その後、学校は個別の指導計画を作成した上で、子供への保護者と支援について話し合う。

④ こうべ学びの支援センター実地研修

H26 年度より実施。こうべ学びの支援センターで実地の研修を行う。

H30 21 名、H31 23 名（参加者：幼稚園、小・中・高等・特別支援学校の教員）

(2) 相談件数

事業内容	平成 29 年度 (件)	平成 30 年度 (件)
保護者・学校からの相談	2 1 1 9	2 2 4 3
検査・巡回指導の申込	5 5 2	5 7 9
実態把握実施	4 2 8	4 3 3
結果説明 (保護者)	4 1 7	4 4 1
医療教育相談	2 4 1	2 3 6
巡回相談	8 0 5	8 0 3
申し込み～巡回相談	約 9 2 日	約 1 0 1 日

- ① 通級指導教室での発達検査等の実態把握（こうべ学びの支援センターの専門相談員を派遣して実施） 7 教室×5 回を予定
- ② エリアシステムの継続及び通級指導教室担当者のこうべ学びの支援センターへの出務者の増員
- ③ 専門相談員・巡回相談員 S V 連絡会（業務の改善検討）の実施（各年間 3 回）
- ④ 曜日ごとの研修会（ケース会）の実施（各曜年年間 3 回）

(3) こうべ学びの支援センター構成員

【センター長1名（こうべ学びの支援センター担当課長）、指導主事4名、相談指導員1名】

【医療教育相談員】（小児科、精神科医等）

- ・ 月に1回の出務

竹田 契一	大阪医科大学	白瀧 貞昭	神戸博愛病院
東 佐保子	東こどもの心とからだのクリニック	石川 道子	武庫川女子大学
今西 宏之	みなとのこども診療所	金 泰子	大阪医科大学付属病院
高 富栄	ココロのクリニック	小林 穂高	名張市民病院
田中こゆき	ひょうごこころの医療センター	中野加奈子	六甲アイランド甲南病院
山辺ゆかり	明石市夜間休日応急診療所	若宮 英司	藍野大学
西村 美緒	にこにこハウス医療福祉センター		

【専門相談員】

- ・ 1日につき、3人～5人の出務

萱村 俊哉	武庫川女子大学教授	西田 和子	神戸総合医療専門学校言語聴覚士科学科長
伊藤 園子	臨床心理士 公認心理師	岩井 美香	学校心理士
岩本 寛子	臨床心理士	木川 恵理	臨床心理士 公認心理師
北村 順子	臨床心理士 公認心理師	須田 瑞季	臨床心理士 公認心理師
長尾 直子	臨床心理士 公認心理師	根来あゆみ	特別支援教育士 SV 学校心理士 公認心理師
拜郷 奈美	臨床心理士 公認心理師	林 照子	甲南女子大准教授 学校心理士 公認心理師
韓 香織	言語聴覚士 公認心理師	増田 恭子	臨床心理士 公認心理師
増山 和代	臨床心理士 公認心理師	南 沙江	臨床心理士 公認心理師

【巡回相談員】

- ・ 小・中・高等学校の通級指導教室担当教員 計47名
- ・ 1日につき、7名～13名の出務

(4) 他機関等との連携【各種連絡会等】

- ① こうべ学びの支援センター連絡会……………年1回 H26年度より
有識者、学校関係者等から意見をいただく。
- ② 教育相談指導室との連絡会……………月1回
- ③ こども家庭センター発達相談係との連絡会…年1回 H27年度より
- ④ 育成・教育相談連絡会……………年2回
こども家庭センター養育支援係、県警少年課補導係、青少年補導センター、教育相談指導室と情報交換を行う。
- ⑤ 神戸市発達障害児（者）支援地域協議会代表者会への参加
- ⑥ 神戸市教育相談連絡会への参加
- ⑦ スクールカウンセラー設置校連絡協議会への参加
- ⑧ こうべ学びの支援連絡調整会議への参加
- ⑨ 通園施設教育関係者連絡部会への参加
- ⑩ 各区四者連絡会への参加……………各区年1回
こども家庭センター・療育センター・区役所こども家庭支援課・通級指導教室と情報交換を行う。

神戸市通級指導検討委員会について

1. 設置趣旨

全国に先駆けて設置している神戸市の通級指導教室であるが、課題としては、

- ①通級指導を受けている児童生徒の増加、小中学校通級指導担当教員の基礎定数化(児童生徒数に応じて配置)による教員の増加に応じた通級指導実施体制の再構築が必要になること
 - ②統廃合が行われ減少している市立幼稚園における通級指導担当教員・教室のあり方
 - ③高等学校における通級指導体制のあり方
- がある。そこで、これらの課題について、幅広く意見を求め、今後の施策の参考とすることを目的に設置した。

2. 開催経過

第1回目 平成30年10月31日(水)

第2回目 平成30年12月26日(水)

第3回目 平成31年2月26日(火)

第4回目 令和元年6月18日(火)

「意見書」受理 令和元年7月10日(水)

3. 意見の概要

(1) 小中学校における通級指導について

① 潜在数の把握

今後の通級指導の内容等の方向性を出すには、通級指導を必要とする児童生徒の潜在数の把握が必要である。

② 通級指導教室の整備

- ・現在の14箇所の拠点校通級指導では、他校に通うことになるので、小学生は保護者の送迎、中学生は部活動等の理由で、通級指導が必要であるのに受けられないというケースが発生している。
- ・全国的な流れは、他校通級指導でなく自校通級指導の方に向いている。
- ・自校通級指導で、各校に1名程度の配置となると、専門性確保や孤立化の課題が発生する。
- ・現在、設置されている14箇所の拠点校通級指導教室は、現在と同様に幼・小・中・(高)と複数名の教員の配置を継続して専門性を確保し、自校通級指導教室を新たに設置した場合は、そこを支援する役割を果たすべきである。
- ・小規模校は、全て自校に通級指導担当教員を配置することは困難であるが、巡回方式を採用してはどうか。

③ 専門性の担保及び拠点校通級指導担当教員が自校通級指導教室を支援する体制の構築

- ・自校通級指導担当教員が、拠点校通級指導担当教員から通級指導についての研修を受けたり、事例を通じて助言や指導を受けたりする等の研修体制を整え、それを蓄積して行く必要がある。

(2) 幼児の通級指導について

- ・幼児の通級指導は、集団の中での人との関係性や実践的な力を育む効果があり、その後の小学校で生き生きと過ごす方につながったり、学校教育がスムーズに進められることに活かされたりしている。
- ・関係機関と役割分担の上、連携をさらに進める必要がある。

(3) 高等学校における通級指導について

- ・高等学校では、教員及び生徒・保護者の通級指導についての理解がまだ不十分であり、理解推進を図る必要がある。
- ・全国的な課題であるが、教育課程に加えるか、その一部に替えるか等の考え方の整理が必要である。

障害者の新規求職申込件数、有効求職者数及び就職件数の推移と全国との比較表（兵庫労働局）

新規求職申込件数		障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他障害者	
		件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成24年度	全国	161,941	9.2%	68,798	2.1%	30,224	8.9%	57,353	17.6%	5,566	25.0%
	兵庫県	5,908	7.3%	2,962	1.3%	1,105	2.5%	1,713	24.8%	128	▲0.8%
平成25年度	全国	169,522	4.7%	66,684	▲3.1%	30,998	2.6%	64,934	13.2%	6,906	24.1%
	兵庫県	6,004	1.6%	2,839	▲4.2%	1,134	2.6%	1,868	9.0%	163	27.3%
平成26年度	全国	179,222	5.7%	65,265	▲2.1%	32,313	4.2%	73,482	13.2%	8,162	18.2%
	兵庫県	6,584	9.7%	2,868	1.0%	1,326	16.9%	2,198	17.7%	192	17.8%
平成27年度	全国	187,198	4.5%	63,403	▲2.9%	33,410	3.4%	80,579	9.7%	9,806	20.1%
	兵庫県	6,927	5.2%	2,824	▲1.5%	1,397	5.4%	2,433	10.7%	273	42.2%
平成28年度	全国	191,853	2.5%	60,663	▲4.3%	34,225	2.4%	85,926	6.6%	11,039	12.6%
	兵庫県	7,182	3.7%	2,700	▲4.4%	1,483	6.2%	2,680	10.2%	319	16.8%
平成29年度	全国	202,143	5.4%	60,533	▲0.2%	35,742	4.4%	93,701	9.0%	12,167	10.2%
	兵庫県	7,630	6.2%	2,689	▲0.4%	1,514	2.1%	3,005	12.1%	422	32.3%
平成30年度	全国	211,271	4.5%	61,218	1.1%	35,830	0.2%	101,333	8.1%	12,890	5.9%
	兵庫県	8,119	6.4%	2,785	3.6%	1,632	7.8%	3,281	9.2%	421	▲0.2%

有効求職者数		障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他障害者	
		件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成24年度	全国	198,755	8.9%	92,096	3.5%	38,739	7.4%	63,392	17.4%	4,528	30.8%
	兵庫県	8,031	11.5%	4,139	5.0%	1,640	16.5%	2,136	21.9%	116	18.4%
平成25年度	全国	207,956	4.6%	91,677	▲0.5%	39,321	1.5%	71,184	12.3%	5,774	27.5%
	兵庫県	9,062	12.8%	4,561	10.2%	1,825	11.3%	2,522	18.1%	154	32.8%
平成26年度	全国	218,913	5.3%	91,537	▲0.2%	40,544	3.1%	79,796	12.1%	7,036	21.9%
	兵庫県	9,459	4.4%	4,576	0.3%	1,865	2.2%	2,811	11.5%	207	34.4%
平成27年度	全国	231,066	5.6%	91,939	0.4%	41,803	3.1%	88,857	11.4%	8,467	20.3%
	兵庫県	10,347	9.4%	4,740	3.6%	2,051	10.0%	3,265	16.2%	291	40.6%
平成28年度	全国	240,744	4.2%	89,797	▲2.3%	43,343	3.7%	97,913	10.2%	9,691	14.5%
	兵庫県	10,008	▲3.3%	4,208	▲11.2%	2,113	3.0%	3,350	2.6%	337	15.8%
平成29年度	全国	255,612	6.2%	90,649	0.9%	45,770	5.6%	107,991	10.3%	11,202	15.6%
	兵庫県	10,593	5.8%	4,219	0.3%	2,185	3.4%	3,738	11.6%	451	33.8%
平成30年度	全国	272,481	6.6%	92,824	2.4%	46,928	2.5%	119,983	11.1%	12,746	13.8%
	兵庫県	11,143	5.2%	4,371	3.6%	2,179	▲0.3%	4,075	9.0%	518	14.9%

就職件数		障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他障害者	
		件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成24年度	全国	68,321	15.1%	26,573	6.9%	16,030	11.9%	23,861	26.6%	1,857	39.5%
	兵庫県	2,540	12.3%	1,172	5.4%	645	16.8%	691	25.0%	32	▲27.3%
平成25年度	全国	77,883	14.0%	28,307	6.5%	17,649	10.1%	29,404	23.2%	2,523	35.9%
	兵庫県	2,827	11.3%	1,153	▲1.6%	730	13.2%	887	28.4%	57	78.1%
平成26年度	全国	84,602	8.6%	28,175	▲0.5%	18,723	6.1%	34,538	17.5%	3,166	25.5%
	兵庫県	3,158	11.7%	1,241	7.6%	751	2.9%	1,092	23.1%	74	29.8%
平成27年度	全国	90,191	6.6%	28,003	▲0.6%	19,958	6.6%	38,396	11.2%	3,834	21.1%
	兵庫県	3,405	7.8%	1,228	▲1.0%	851	13.3%	1,231	12.7%	95	28.4%
平成28年度	全国	93,229	3.4%	26,940	▲3.8%	20,342	1.9%	41,367	7.7%	4,580	19.5%
	兵庫県	3,577	5.1%	1,180	▲3.9%	928	9.0%	1,340	8.9%	129	35.8%
平成29年度	全国	97,814	4.9%	26,756	▲0.7%	20,987	3.2%	45,064	8.9%	5,007	9.3%
	兵庫県	3,796	6.1%	1,180	0.0%	942	1.5%	1,528	14.0%	146	13.2%
平成30年度	全国	102,318	4.6%	26,841	0.3%	22,234	5.9%	48,040	6.6%	5,203	3.9%
	兵庫県	3,902	2.8%	1,137	▲3.6%	1,037	10.1%	1,585	3.7%	143	▲2.1%

民間企業における障害者の雇用状況と全国との比較表（各年6月1日現在）

雇用障害者数		障害者全数(人)		うち身体障害者(人)		うち知的障害者(人)		うち精神障害者(人)	
		対前年増減数	雇用障害者数	対前年増減数	雇用障害者数	対前年増減数	雇用障害者数	対前年増減数	雇用障害者数
平成26年	全国	22,278.0	431,225.5	9,516.0	313,314.5	7,272.5	90,203.0	5,489.5	27,708.0
	兵庫県	536.0	12,608.5	143.0	8,681.0	275.0	3,381.0	118.0	546.5
平成27年	全国	21,908.0	453,133.5	7,438.0	320,752.5	7,541.0	97,744.0	6,929.0	34,637.0
	兵庫県	658.0	13,266.5	253.0	8,934.0	272.0	3,653.0	133.0	679.5
平成28年	全国	21,240.5	474,374.0	6,847.5	327,600.0	7,002.0	104,746.0	7,391.0	42,028.0
	兵庫県	130.0	13,396.5	61.0	8,995.0	▲1.0	3,652.0	70.0	749.5
平成29年	全国	21,421.0	495,795.0	5,854.0	333,454.0	7,547.5	112,293.5	8,019.5	50,047.5
	兵庫県	768.5	14,165.0	240.5	9,235.5	352.5	4,004.5	175.5	925.0
平成30年	全国	38,974.5	534,769.5	12,754.0	346,208.0	8,873.0	121,166.5	17,347.5	67,395.0
	兵庫県	1,103.0	15,268.0	462.5	9,698.0	229.5	4,234.0	411.0	1,336.0

障害者の職業紹介状況の推移（神戸公共職業安定所）

新規求職申込件数	障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成25年度	889	1.8	462	▲2.1	154	3.4	259	6.6	14	55.6
平成26年度	1,035	16.4	486	5.2	212	37.7	330	27.4	7	▲50.0
平成27年度	1,081	4.4	467	▲3.9	220	3.8	364	10.3	30	328.6
平成28年度	1,104	2.1	421	▲9.9	232	5.5	414	13.7	37	23.3
平成29年度	1,242	12.5	444	5.4	238	2.5	505	21.9	55	48.6
平成30年度	1,326	6.8	454	3.2	238	0.0	570	12.9	64	16.4

有効求職者数	障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成25年度	1,515	10.6	852	6.1	280	16.2	368	16.5	14	64.8
平成26年度	1,633	7.8	891	4.6	310	10.4	415	12.8	17	20.8
平成27年度	1,628	▲0.3	823	▲7.6	318	2.7	458	10.3	28	60.8
平成28年度	1,856	14.0	871	5.8	372	17.0	572	24.9	41	46.4
平成29年度	1,769	▲4.6	754	▲13.4	365	▲1.8	592	3.4	58	41.4
平成30年度	1,864	5.4	731	▲3.1	368	0.8	683	15.4	83	56.6

※各年度の月平均を示す。

紹介件数	障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成25年度	2,241	4.2	932	▲12.4	320	61.6	962	11.2	27	17.4
平成26年度	2,313	3.2	1,024	9.9	306	▲4.4	968	0.6	15	▲44.4
平成27年度	2,324	0.5	1,067	4.2	333	8.8	858	▲11.4	66	340.0
平成28年度	2,209	▲4.9	935	▲12.4	314	▲5.7	890	3.7	70	6.1
平成29年度	2,252	1.9	788	▲15.7	336	7.0	1,122	26.0	106	51.4
平成30年度	2,675	18.8	747	▲5.2	326	▲3.0	1,523	35.7	79	▲25.5

就職件数	障害者全数		身体障害者		知的障害者		精神障害者		その他の障害者	
	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比	件数	前年同期比
平成25年度	372	10.1	160	▲3.6	82	▲2.4	126	46.5	4	50.0
平成26年度	413	11.0	160	0.0	102	24.4	145	15.1	6	66.6
平成27年度	489	18.4	187	16.9	112	9.8	181	24.8	9	50.0
平成28年度	560	14.5	199	6.4	148	32.1	205	13.3	8	▲11.1
平成29年度	630	12.5	189	▲5.0	167	12.8	263	28.2	11	37.5
平成30年度	623	▲1.1	171	▲9.5	158	▲5.4	276	4.9	18	63.6

平成31年度の業務運営計画

兵庫障害者職業センター

当センターの障害者業務の取扱状況

	H30	H29
利用者数	1199	1310
うち精神障害	428	459
うち発達障害	289	303
職業準備支援利用者数	64	64
職業準備支援就職率	80.9%	76.9%
ジョブコーチ支援利用者数	141	182
ジョブコーチ支援定着率	85.7%	83.7%

今年度の重点項目

- ① 精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者に対する支援の強化
- ② 地域の職業リハビリテーション関係機関に対する助言、援助業務の推進
- ③ 専門的な事業主支援の積極的支援

障害者支援

- 精神障害、発達障害、高次脳機能障害への支援強化
 - 引き続き、精神障害、発達障害への支援を強化
 - 高次脳機能障害者については支援の現状を把握し、ネットワーク作りを推進する
- 待機のないタイムリーな支援の展開
 - 前年度に職業評価の様式、手順を見直し、支援が必要な方へタイムリーに支援できる体制にした
- 個々に合わせたプログラムの実施
- 職業準備支援については、必要に応じ就労移行支援と連携して実施

事業主支援

□事業所ニーズにあわせた支援

→職務の切り出し、研修の実施

→様々なプログラムを駆使し、ニーズに応じた支援を実施

□企業に対し、積極的な情報提供

→事業主支援ワークショップ(ミニ講座+意見交換)は、年2回実施

→社員向け研修は積極的に対応

□精神障害者雇用への啓発、対応

→ワークショップ、企業や関係機関からの研修依頼

→「事業主に対する精神障害者の雇用管理に係る事項についての体系的な助言・援助」への対応(企業担当者と連携した支援、支援技法の研修会)目標1件

□特例子会社への支援、情報提供

関係機関支援

支援機関の職員に対するアドバイス、研修

□施設の支援力を高めるための研修

ニーズに合わせた研修会（講義・支援技法）

スーパービジョン型の支援

施設とセンターが協力して支援

□研修会

就業支援基礎研修（年2回；神戸、姫路）

演習形式による支援技法の研修会（年1回）

ジョブコーチ養成研修（千葉において年6回、大阪において年4回開催）

ジョブコーチ養成研修等サポート研修（年3回）

就業支援実践研修（中級者向け研修）

参考:数値目標

□障害者

実利用者 1,173人 (うち精神466人、発達305人、高次脳機能41人)

□職業準備支援

対象者 64人 (うち精神20人、発達30人、高次脳機能6人)

就職率 精神73.2%、発達79.6%、高次脳機能81.8%

□ジョブコーチ支援

対象者 160人 (うち精神57人、発達55人、高次脳機能6人)

6か月定着率 精神82.2%、発達90.0%、高次脳機能89.0%

□リワーク支援

コーディネート108人、 リワーク支援 101人

□事業主支援

体系的支援 18件 精神障害者雇用の助言・援助 1件

障害者雇用率達成指導への協力 20件 納付金業務との連携 15件

□ 関係機関業務

技術的助言 10機関 実習 16機関

協同支援 10機関



独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構

地域障害者職業センターの職業準備支援のご案内 発達障害がある方へのサービス

こんな思い…抱えていませんか？

一つの職場で
長続きしない

面接で上手に
PRしたい

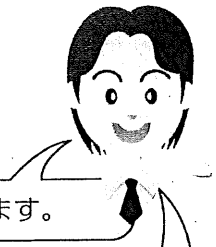


職場の人と上手に
付き合えない

合っている仕事が
分からない

ストレスと上手に
付き合いたい

仕事でミスを
繰り返してしまう



自分に合った仕事選びや継続就労を実現するための就労支援カリキュラムを実施しています。

就労支援カリキュラムのイメージ

個別カリキュラムの作成

利用者の目標に合わせて、
様々なプログラムを組み合
わせた個別のカリキュラム
を作成し、実施します。

個別相談 スタッフと定期的に個別カリキュラムの取り組み状況を確認します。

就労支援カリキュラム

各種講習

例

面接の
受け方

履歴書の
書き方

求職活動に役立つ知識を
身につけます。



技能体得講座

対人技能

作業マニュアル
作成

問題解決技能

ストレス対処

社会生活技能や作業遂行力の向上を
目的とした講座を受講します。



カリキュラムで学んだ内容を
企業実習で実践します。
企業体験実習

センター内作業支援

例

清掃

事務

商品
管理

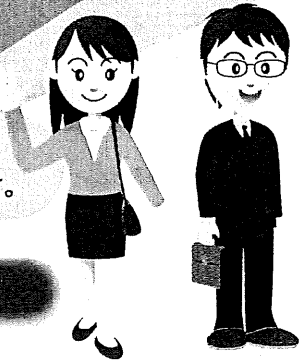
組立
分解

自分に合った作業や
上手なやり方を見つけます。



求職活動支援
ハローワークと協力して企業面接への同行等を行います。

就職後のフォローアップ

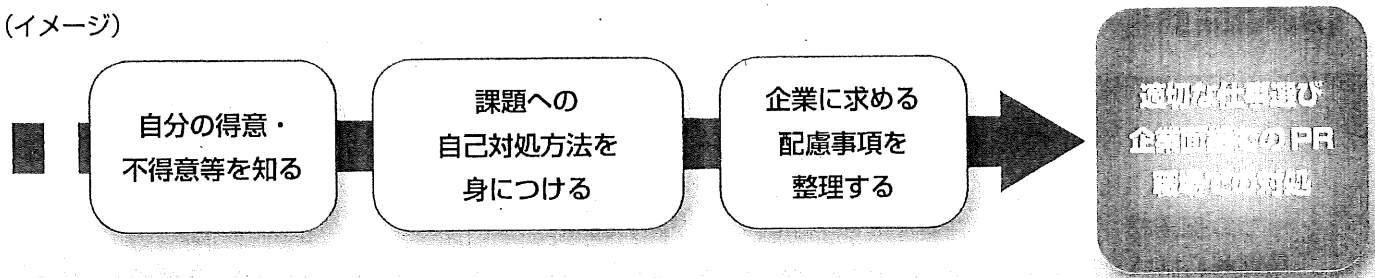


就労支援カリキュラムの特徴

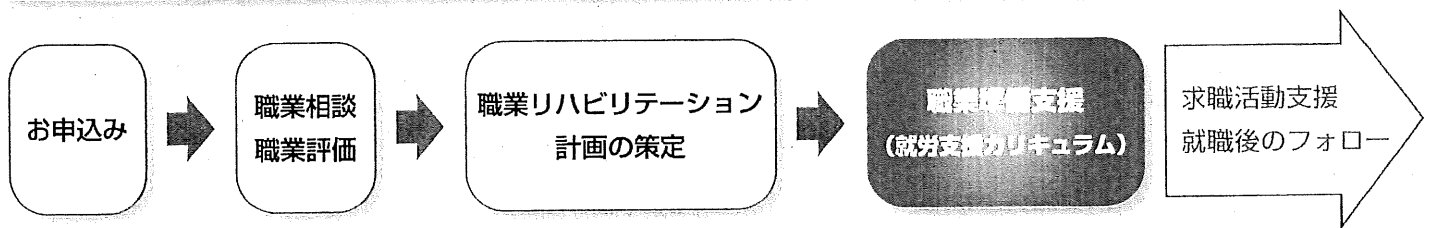
カリキュラムの期間、内容は一人ひとり異なります。*標準 12週間程度

「講座」「講習」「相談」「作業」「実習」等の様々な場面を効果的に活用することで
仕事選びや継続就労に具体的に役立つ技能を身につけます。

(イメージ)



就労支援カリキュラムご利用までの流れ



職業相談・職業評価の結果、就労支援カリキュラム以外のサービスや他の支援機関をご案内する場合があります。
当センターのサービスに費用はかかりませんが、交通費・昼食代は自己負担です。工賃や手当の支給はございません。

就労支援カリキュラム利用者の例

適性が分からず、
企業面接で
うまく
PRできない
Aさん



書類やデータ等の照合は正確で、反復作業は苦にならないと気づきました。
自分の特徴を整理して、自己分析シートを作成したことで、企業面接でのPRがスムーズになりました。

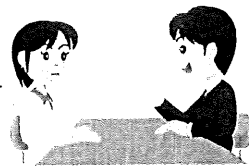
一つの職場で
長続きしていない
Bさん



「指示に集中できず、後で何度も同じ質問してしまう」「うっかりミスをしてしまう」「一方的に話してしまう」等の傾向に気づきました。
「相手の話を聞くこと」「メモの活用」「指さし確認」を意識しています。

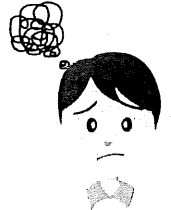
仕事に必要な質問、報告等を体験的に学びました。クッション言葉をスムーズに言えるようになり、質問のタイミングにも自信が持てました。
休憩時間の会話は苦手ですが、講座で他の利用者の意見をきき、適度に一人の時間を持つ事も大切だと気づきました。

コミュニケーションに
自信がない
Cさん



疲れによるミスを予防するために、適度なペースや休憩の取り方を講座や作業で学びました。
今の職場では、集中した後のリフレッシュとしてストレッチを行っています。

ミスに過敏で、
疲労しやすい
Dさん



【職業準備支援の問い合わせ先】 まずは最寄りの地域障害者職業センターへお問い合わせください。

※全国の地域障害者職業センターの所在地及び連絡先は
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の
ホームページ(<http://www.jeed.or.jp/>)で
ご覧いただけます。

就労支援事業

1 発達障害者の就労支援のための相談員配置

(1) 実施概要

平成 26 年度より、しごとサポート（北部・東部・西部）に「精神・発達障害者就労支援員」を配置し、障害特性に配慮した相談支援・職場定着支援を実施している。

(2) 就労支援実績

	相談件数 (延べ件数)	就職者数	職場定着支援 (延べ件数)
28 年度	1,086	27	826
東部	161	2	103
北部	432	10	556
西部	493	15	167
29 年度	1,238	50	868
東部	294	4	142
北部	310	15	506
西部	634	31	220
30 年度	1,227	41	980
東部	357	7	338
北部	257	8	383
西部	613	26	259

2 「障害者トライアル実習」の対象として発達障害者の受け入れ

(1) 実施概要

市役所内で短期間（9 日間）の事務補助業務に従事する「障害者トライアル実習」の対象として知的障害者、精神障害者のほか、発達障害者についても受け入れを行っている。

(2) 実績

・各年度 1 名 ※平成 23 年度より

3 「発達障害者の就労」をテーマとしたセミナーの開催

(1) 実施概要

企業における発達障害への理解を深めること等を目的に、兵庫労働局との共催により、「発達障害者の就労」をテーマとしたセミナーを開催している。

(2) 開催実績

- ・平成 28 年度：平成 29 年 3 月 22 日 参加者 141 名
- ・平成 29 年度：平成 30 年 3 月 19 日 参加者 205 名
- ・平成 30 年度：平成 31 年 3 月 13 日 参加者 238 名

平成 30 年度 発達障害者支援センター事業実施状況

1. 支援機関とのネットワークの構築・運営

＜児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局共通＞

先駆的な事業を実施している大学、医療機関、親の会、民間団体等も含め、発達障害支援に関わる関係機関とのネットワークを構築し、これら関係機関との協働により各種の事業を展開している。

(1) 神戸市発達障害児（者）支援地域協議会（代表者会）の開催

学識経験者・親の会・支援機関等の関係機関のご意見をいただく場として開催した。

日時：平成 30 年 7 月 19 日（木） 17:30～19:30

場所：たちばな職員研修センター3階研修室

内容： ・平成 29 年度神戸市発達障害者支援センター事業報告

・平成 30 年度神戸市発達障害者支援センター事業計画

・発達障害児（者）支援事業

(2) 連絡会の開催（出席）

＜児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局＞

① 相談等支援機関との連絡会

「相談窓口連絡会(窓口所長会)」

4 回/年

「相談窓口相談員連絡会」

12 回/年

「地域センター連絡・調整会議（六者会）」

12 回/年

「神戸地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議」

2 回/年

「発達障害者支援センター全国連絡協議会・近畿ブロック会」

2 回/年

※平成 30 年度・31 年度、近畿ブロック代表幹事に就任（※新規）

② 神戸市医師会との連絡会

「神戸市医師会子育て支援委員会」

2 回/年

③ その他関係部局との連絡会

「障害者施策推進協議会」

1 回/年

「中央区行政機関連絡会議」

1 回/年

「総合児童センター運営委員会・療育指導部会」

1 回/年

「療育ネットワーク会議」

1 回/年

「精神保健懇話会」

3 回/年

「こうべ学びの支援連絡調整会議」

1 回/年

「人権教育・啓発推進本部ネットワーク部会」

1 回/年

「兵庫県立子ども発達支援センター市町連絡会」

1 回/年

「兵庫県発達障害者支援協議会」

2 回/年

「保護観察所等連絡協議会」

1 回/年

2. 当事者・家族支援

(1) こども編

① ペアレントメンターの活用

＜児/子ども家庭局＞

親の会と連携しながら、ペアレントメンター養成のための研修会を実施。

と き	講 師	場 所	参加者数
12月 7日(金)	三田谷治療教育院	総合福祉センター	13人

② ペアレントトレーニングとサポートブック普及・啓発事業

＜児/子ども家庭局＞

i) ペアレントトレーニング

「してほしくない行動」や「してほしい行動」といったこどもの行動に焦点をあて、具体的にどのような対応ができるかを学習していくプログラム。小学3年生までの保護者を対象に、家庭内の環境整備や言葉かけなどについて講座とグループワークを中心に学ぶ。

ペアレントトレーニングを実施する中でサポートブックもテーマに取り上げ、作り方のコツや実際に渡す際の留意点を学ぶ。

家庭養育講座（前期 就学前児童，後期 小学1～3年生） 6回×2コース 各コース10人程度

	と き	講 師	場 所	参加者数
前期	5月11日(金), 5月25日(金), 6月 8日(金) 6月22日(金), 7月 7日(金), 7月20日(金)	三田谷治療 教育院	総合福祉 センター	① 9人②11人③10人 ④11人⑤10人⑥ 8人
	フォローアップ研修：10/26(金)			9人
後期	1月11日(金), 1月25日(金), 2月 8日(金) 2月22日(金), 3月 8日(金), 3月15日(金)	三田谷治療 教育院	総合福祉 センター	① 7人② 7人③ 7人 ④ 6人⑤ 5人⑥ 6人
	フォローアップ研修実施予定			人

北区発達障害児支援教室(きたキッズ3)

と き	講 師	場 所	参加者数
11月 9日(金)	発達障害者支援センター	北区役所	7人

ii) サポートブック普及・啓発

<児/こども家庭局>

小学校就学時にサポートブックを通じて今までの支援者（保育所等）が発信する情報と新たな支援者（小学校）が受け取りたい情報が合致するよう、普及・啓発事業を実施。

サポートブックの作り方 出張講座

と き	講 師	場 所	参加者数
12月 3日(月)	発達障害者支援センター	まるやま学園	17人
12月 6日(木) 10日(月)	発達障害者支援センター	のぼら学園	16人 12人

③ 祖父母向け講座の実施

<児/こども家庭局>

近年発達障害児の祖父母からの相談依頼が増えている。そこで概ね就学前～小学校3年生位までの発達障害の孫を持つ祖父母を対象とした基礎講座を実施。

2回×1コース

と き	講 師	場 所	参加者数
11月 6日(火) 11月 20日(火)	関西福祉科学大学 教育学部教育学科 准教授 加藤 美朗 氏	総合福祉センター	①26人 ②19人

④ 家庭療育講座「パパママサポートセミナー」

<児/こども家庭局>

発達障害の特性を持つ子どもの保護者を対象とした子育て講座。両親と一緒に参加する事で、より深い学びと理解の共有を目指す。

親自身が子どもへの関わり方について振り返り、新たな関わり方を身につけていくことを目標として、専門家のアドバイスを受けながら、子どもの「しんどさ」への理解を深め、同じ悩みを持つ親同士で話し合い、練習し、家庭で実践・応用できるよう具体的に学ぶ。

5回×1コース 概ね小学生校3年生までの発達障害児(未診断を含む)の両親約6組12人

と き	講 師	場 所	参加者数
5月26日(土), 6月 9日(土) 6月23日(土), 7月 7日(土) 7月21日(土)	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 准教授 嶋崎 まゆみ 氏	総合福祉センター	① 9人 ② 9人 ③ 8人 ④ 中止 ⑤ 10人

⑤ 発達障害児家族支援事業

《会場：総合児童センター》

<児/こども家庭局>

発達のがかりな子を持つ保護者の悩みを和らげ、保護者が子どもの特性を理解し、適切な養育ができるように、家族支援事業を実施する。

日 程	テ ー マ	場 所	講 師
11月 1日(木)	オリエンテーション・自己紹介・おはなし	総合児童センター	神戸親和女子大学 発達教育学部 教授 大島 剛氏
11月 8日(木)	お話①「子どもの発達について1」		
11月15日(木)	お話②「子どもの発達について2」		
11月24日(木)	ファミリーデイ「親子であそぼ!」		
11月29日(木)	お話③「家庭生活について」		
12月 6日(木)	お話④「集団生活について」		
12月13日(木)	ふりかえりとまとめ 修了式		

⑥大学と連携した支援事業

地域支援教室(神戸市社会福祉協議会への補助事業)

<児/こども家庭局>

発達障害児の療育プログラムや家庭支援プログラム、専門研修プログラム等を地域の身近な場所で開催し、発達障害児やその家族、支援者の支援事業を神戸大学と連携して行う。

対象:3歳以上就学前の発達の気になる子どもと保護者

i)親支援教室及び一時保育(すまいるぽっとらっく)の実施状況

会場:青陽須磨支援学校

日 程	プログラム	講 師	参加者数		
			講習	託児	ボランティア
4月 14日(土)	「子どもが変わる支援~キーワードは視覚化」	ぽっと代表 山根 弘子氏	6人	6人	8人
5月 12日(土)	「家族を含めた子どもの支援」	関西学院大学教育学部 (保健師、看護師)助教 松井 学洋氏	5人	5人	8人
6月 9日(土)	「発達の遅れが気になる子どもへの運動指導」	NPO法人アスロン 代表 井原 一久氏	7人	6人	5人
7月 14日(土)	「元気でしなやか、へこたれない心(レジリエンス)を育もう」	神戸大学大学院保健学科研究科 研究員 中塚 志麻氏	8人	4人	11人
8月 5日(日)	就学後の集い(すま・なだ合同) 「障害のある子どもと家族への支援を考える」 「神戸市の各学校の現状について」 「開講2年目の学校の取り組みと生徒に身につけてほしい力」	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲氏 神戸市教育委員会特別支援教育課 指導主事 山田 義明氏 兵庫県立西神戸特別支援学校 教頭 清水 祥一氏	27人	20人	33人
9月 8日(土)	「保育士として伝えたい子育てに大切なこと」	元神戸市立保育所長 保育士 平田 妙子氏	台風・大雨警報のため休講		
10月13日(土)	「特別支援学校ってどんな学校?」	元東大阪特別支援学校 教員 三原 俊氏	4人	6人	6人
11月10日(土)	「不器用な子どもの理解と支援」	神戸大学大学院保健学科研究科 助教授 篠川 裕子氏	4人	6人	6人
12月 8日(土)	「クリスマス会 家族で音楽を楽しもう」	音楽療法士 古川 和歌子氏	9人	11人	8人
2月 9日(土)	「発達を促すあそびをととした作業療法士の支援」	関西医療大学大学院保健医療学部 教授 大歳 太郎氏	6人	1人	6人
3月 9日(土)	「社会性を育む支援」	関西学院大学教育学部 (保健師、看護師)助教 松井 学洋氏	11人	13人	13人
合計	11回・1回は休講		87人	78人	104人

ii) 専門療育プログラム：個別支援教室「星の子」の実施状況

会場：たかとり児童館、総合児童センター7階研修室

日 程	内 容		参加者数		
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア	
上半期 4月～9月	4月 25日(水)	検査・面談	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	2組	13人
	5月 2日(水)	検査・面談		1組	12人
	毎週水曜日 5月 9・16・23 日 6月 6・13・27 日 7月 4・18・25 日 8月 1・ 8・22・29 日 9月 5・ . . . 日 計 14回	専門療育プログラム教室		延 54組	延 154人
	6月 20日(水)	お母さん学習会		3人	2人
	5月 30日(水)	親子のためのプログラム (おしゃべり会)		10人	2人
	7月 11日(水)		1人	2人	
	9月 19日(水)		6人	2人	
	5月 17日(木)	学習会 自閉症(ASD)ってどんな障害?	ほっと代表 山根 弘子 氏	28人	2人
	6月 7日(木)	コミュニケーションの力をつけよう ～視覚支援の意味と方法～		31人	1人
	6月 26日(火)	ソーシャルスキルを身につけるために ～障害特性に合わせた支援～		36人	0人
	7月 11日(木)	不適応行動にこめられたメッセージ		26人	0人
	9月 20日(木)	自立を目指して ～自己選択・自己決定の力をつけよう～		29人	2人

日 程	内 容		参加者数		
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア	
下半期 10月～3月	10月17日(水)	検査・面談	2組	10人	
	10月24日(水)	検査・面談			
	毎週水曜日 11月7・14・21日 12月5・12・19日 1月9・16・23・30日 2月6・20・27日 3月6・13・日 計15回	専門療育プログラム教室			延41組
	11月28日(水)	親子のためのプログラム (おしゃべり会)	星の子スタッフ 松井 潤子 氏 三島 佳世子 氏	4人	2人
	2月13日(水)			5人	1人
	11月1日(木)	学習会 自閉症(ASD)ってどんな障害?	ほっと代表 山根 弘子 氏	15人	2人
	11月15日(木)	コミュニケーションの力をつけよう ～視覚支援の意味と方法～		18人	2人
	12月7日(金)	ソーシャルスキルを身につけるために ～障害特性に合わせた支援～		29人	1人
	2月14日(木)	不適応行動にこめられたメッセージ		31人	1人
	3月1日(金)	自立を目指して ～自己選択・自己決定の力をつけよう～		26人	1人

⑦県と協働した医療・療育環境の充実

<児/こども家庭局>

県立こども発達支援センターの窓口として、利用に係るインテークや利用後のフォロー等、円滑な利用を可能とする連携を行う。(相談受付・情報聴取・勘案後、事前協議として県に繋ぐ。)

電話受付件数

年度	件数 (件)
平成24年度(6/11から開始)	40
平成25年度	17
平成26年度	26
平成27年度	10
平成28年度	9
平成29年度	8
平成30年度	7

(2)おとな編

①発達障害者相談窓口

<者/保健福祉局>

i)実施概要

発達障害者が身近な場所で相談できる窓口として、市内4か所で発達障害者相談窓口事業を実施。当事者が地域でより快適な生活を送れるよう、日常生活、就労、医療、教育など多岐にわたり相談支援をしている。個々のニーズに応じた支援計画の作成と継続的な支援とともに、各関係機関と連携をとり支援を行っている。対象者は市内在住の15歳以上(平成28年度までは18歳以上)の未診断を含む発達障害者とその家族。平成25年度には西部相談窓口、平成26年度には東部及び中部相談窓口、平成27年度には北部相談窓口連携強化員(コーディネーター)を1名拡充配置し、平成28年度より各窓口とも2名体制となっている。なお、平成30年度には、しごとサポートの圏域に合わせて、中部相談窓口「須磨区全域」をカバーするよう圏域を一部変更している。

ii) 委託先・地域（平成 21 年 7 月～）

- 1) 東部相談窓口（新緑福祉会）：東灘区、灘区
 2) 中部相談窓口（神戸聖隷福祉事業団）：中央区、兵庫区、長田区、須磨区
 3) 北部相談窓口（かがやき神戸）：北区
 4) 西部相談窓口（すいせい）：垂水区、西区

<延相談件数> (件)

年度 \ 窓口	東部	中部	北部	西部	計
平成 21 年度（7 月～）	495	379	706	633	2,213
平成 22 年度	793	791	786	870	3,240
平成 23 年度	960	586	722	962	3,230
平成 24 年度	974	527	821	860	3,182
平成 25 年度	684	502	1,046	1,138	3,370
平成 26 年度	906	547	971	1,386	3,810
平成 27 年度	941	664	1,005	1,405	4,015
平成 28 年度	959	914	1,159	1,091	4,123
平成 29 年度	707	876	1,133	1,006	3,722
平成 30 年度	1,147	1,155	940	862	4,104

② 発達障害者居場所づくり事業

<者/保健福祉局>

i) 実施概要

発達障害者の身近な居場所として、市内 4 か所（3 か所は月 1 回開催、1 か所は毎日型）で発達障害者居場所事業を実施。発達障害者が日常生活や職場での生きづらさから解放され、ほっとできる場を提供するとともに、ゲームや外食会などのリクリエーションや就労・生活技術のスキルアップをめざすプログラムを実施。毎日型の居場所は、SST のプログラムや相談を行っている。対象者は発達障害者相談窓口を通じて紹介された市内在住の 18 歳以上の発達障害者。

ii) 月 1 回型居場所事業の委託先（平成 21 年 7 月～）

- 1) あんずのつどい（木の芽福祉会）
 2) ひだまりのつどい（かがやき神戸）
 3) ハーモニーのつどい（すいせい）

(件)

年度 \ 居場所	あんず	ゆめの (24年9月まで)	ひだまり	ハーモニー	計
平成 21 年度（7 月～）	28	63	13	69	173
平成 22 年度	61	83	25	60	229
平成 23 年度	59	78	22	111	270
平成 24 年度	53	47	23	63	186
平成 25 年度	45	-	33	97	175
平成 26 年度	61	-	20	83	164
平成 27 年度	121	-	29	58	208
平成 28 年度	56	-	35	49	140
平成 29 年度	81	-	27	60	168
平成 30 年度	90	-	24	52	166

iii) 毎日型居場所事業の委託先 (平成 24 年 10 月～)

1) ゆめののつどい (神戸光有会) (件)

年度	居場所	ゆめの (24 年 10 月～)
平成 24 年度		417
平成 25 年度		457
平成 26 年度		584
平成 27 年度		514
平成 28 年度		1,151
平成 29 年度		1,257
平成 30 年度		1,127

③ 更生相談所の診断

< 者/保健福祉局 >

「発達障害者相談窓口」からの依頼に基づき、相談や判定を実施。嘱託医師を配置して診断を実施。
(件)

年度	窓口	東部	中部	北部	西部	計
平成 21 年度 (7 月～)		1	5	1	10	17
平成 22 年度		5	6	4	15	30
平成 23 年度		10	10	2	23	45
平成 24 年度		8	5	3	30	46
平成 25 年度		8	3	0	24	35
平成 26 年度		6	10	2	18	36
平成 27 年度		2	5	0	14	21
平成 28 年度		2	4	1	16	23
平成 29 年度		0	1	1	9	11
平成 30 年度		2	5	1	11	19

④ 当事者向け SST「グループセッション」の実施

< 者/保健福祉局 >

発達障害者相談窓口を利用中で、就労を目指す当事者の方を対象にした SST(ソーシャルスキルトレーニング)を実施。就労や社会生活場面で必要なコミュニケーションスキルについて、講義やロールプレイを通して学ぶことを目的とする。

5 回×1 コース 各コース 10 名程度

と き	講 師	場 所	参加者数
5月29日(火)、6月12日(火) 6月26日(火)、7月10日(火) 7月24日(火)	三田谷治療教育院	総合福祉センター	① 6人 ② 6人 ③ 7人 ④ 6人 ⑤ 6人

(3) 思春期・青年期編

① 思春期・青年期発達障害相談・居場所支援事業

< 者/保健福祉局 >

《会場：総合福祉センター》

i) あつとらんど (思春期発達相談室)

概ね 13 歳～18 歳の方とその保護者を対象に臨床心理士による相談支援を行う。

ii) Be・ユース (思春期・青年期居場所事業)

概ね 15 歳～22 歳の方を対象に作業療法士による LST プログラムを実施し、就労、自立生活に必要な日常生活スキルの向上を図る。

あっとらんど実績

年 度	あっとらんど (件)		場 所
	新規相談件数	延件数	
平成 23 年度	28	93	発達障害者 支援センター
平成 24 年度	22	166	
平成 25 年度	13	109	
平成 26 年度	6	64	
平成 27 年度	41	115	
平成 28 年度	59	188	
平成 29 年度	29	200	総合福祉センター
平成 30 年度	27	172	

Be・ユース実績

年 度	Be・ユース		場 所
	参加者数(人)	実施回数(回)	
平成 23 年度	36	35	発達障害者 支援センター
平成 24 年度	182	65	
平成 25 年度	165	53	
平成 26 年度	65	20	
平成 27 年度	51	22	
平成 28 年度	74	22	
平成 29 年度	75	21	総合福祉センター
平成 30 年度	119	22	

回	日 程	テ ー マ	人 数
1	5月12日(土)	自分の身体を知ろう	5人
2	5月26日(土)	マイノートを作ってみよう①	6人
3	6月9日(土)	身近なUDを探そう	5人
4	6月23日(土)	写真をコラージュしよう	6人
5	7月14日(土)	身体を動かして活動しよう①	6人
6	7月28日(土)	マイノートを作ってみよう②	4人
7	8月6日(月)	ジョブカフェへ行ってみよう	4人
8	8月25日(土)	様々な仕事や働くことについて考えよう	4人
9	9月15日(土)	身だしなみについて考えよう	6人
10	9月22日(土)	クッキング(お月見団子作り)	8人
11	10月13日(土)	マイノートを作ってみよう③	4人
12	10月27日(土)	身体を動かして活動しよう②	5人
13	11月10日(土)	外出	7人
14	11月24日(土)	外出の報告	6人

15	12月 8日 (土)	Xmas 飾りを作ろう	6人
16	12月 22日 (土)	Xmas 会 クッキング	5人
17	1月 12日 (土)	季節の活動を楽しもう～書き初めをしよう～	4人
18	1月 26日 (土)	栄養について学ぼう	5人
19	2月 9日 (土)	クッキング	5人
20	2月 23日 (土)	マイノートを作ってみよう④	4人
21	3月 9日 (土)	Be・ユースの看板を作ろう	5人
22	3月 23日 (土)	神戸市で相談できる場所を知ろう/茶話会	6人

		平成 23～25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度～
		(国事業)	(市事業)		
あっとらんど 【対応者】 臨床心理士	実施日	毎週火・木・土	第1・3の土	第2・4の土	第2・4の火・土
	対応者人数	火・木1名, 土2名	1名	2名	火1名, 土2名
	対象年齢	15歳～18歳		13歳～18歳	
Be・ユース 【対応者】 作業療法士	実施日	毎週火・土	月1～3回土	第2・4土	第2・4土
	対応者人数	1名	1名	1名	1名
	対象年齢	原則15歳～18歳(22歳まで延長可)			

*平成26年度まで「あっとらんど」の相談は、Be・ユースにかかるものに限定していた。

- ②思春期年代当事者向けSST「グループセッション」の実施 <児/こども家庭局>
夏休み期間を利用して、中高生を対象にしたSSTを実施。学校生活や社会生活場面で必要なコミュニケーションスキルについて、講義やロールプレイを通して学ぶことを目的とする。
5回×1コース 約8名

と き	講 師	場 所	参加者数
7月27日(金), 8月 3日(金) 8月10日(金), 8月17日(金) 8月24日(金) 9月21日(金)*	三田谷治療教育院	総合福祉センター	① 8人 ② 7人 ③ 6人 ④ 6人 ⑤ 5人

*保護者へのフィードバック

- ※③大学生の当事者向けSST「グループセッション」の実施 (※新規事業) <若/保健福祉局>
夏季及び冬季休みを利用して、コミュニケーションなどに苦手意識を持っている大学生や大学院生を対象にしたSSTを実施。他の人とうまくやってくれるために必要なシンプルなルールや、他の人の気落ちに振り回されないための考え方を学ぶことを目的とする。医師によるメンタルヘルスの講義も併せて行う。

と き (夏季)	講 師	場 所	参加者数
8月 3日(金), 8月10日(金) 8月31日(金), 9月 7日(金) 9月14日(金), 9月21日(金)	社会福祉法人すいせい 神戸市精神保健福祉 センター嘱託医師 三好 彩 氏	総合福祉センター	① 3人 ② 4人 ③ 4人 ④ 4人 ⑤ 5人

と き (冬季)	講 師	場 所	参加者数
2月8日(金), 2月15日(金) 2月22日(金), 3月1日(金) 3月8日(金), 3月15日(金)	社会福祉法人すいせい 神戸市精神保健福祉 センター嘱託医師 三好 彩 氏	総合福祉センター	延べ24 人

④青年期発達障害者支援事業 (家族のコミュニケーションスキルアップトレーニング)

<者/保健福祉局>

当事者とその家族を対象にした各種支援事業を実施する。具体的には、青年期以降の当事者家族を対象にした「大人版ペアレントトレーニング」を実施する。

4回×2.コース 1コース10人程度

と き	講 師	場 所	参加者数
6月21日(木), 7月12日(木) 7月19日(木), 8月2日(木)	関西学院大学大学院 文学研究科 受託研究員 廣瀬 眞理子 氏ほか	総合福祉センター	①9人 ② 7人 ③7人 ④ 7人
10月25日(木), 11月8日(木) 11月22日(木), 12月6日(木)			① 8人 ② 8人 ③ 8人 ④ 7人

ブラッシュアップセミナー

と き	講 師	場 所	参加者数
9月18日(火) *29年度以前受講生	関西学院大学大学院 文学研究科 受託研究員 廣瀬 眞理子 氏ほか	総合福祉センター	20人
12月13日(木) *30年度前期受講生			6人
3月20日(水) *30年度後期受講生			5人

3. 人材育成

(1) こども編

①発達障害支援者サポート事業

<児/こども家庭局>

「発達クリニック」での知見やノウハウを生かして、保育所、幼稚園、児童館や児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を含めた福祉施設職員を対象に研修し、現場で直接発達障害児の処遇に係る職員の資質向上を図ることにより、早期発見・早期支援を推進した。加えて、一部の講座を市民向けに公開することにより、市民に対しても一層の理解の促進を図り、地域での支援拡充を推進する。

総回数 25回

《会場：総合児童センター》

市民向け講座	講 師	と き	参加者数
発達が気になる子どもと 家族への支援のあり方	神戸市総合療育センター診療所長 高田 哲 氏	① 5/12(土)	107人
		② 5/12(土)	109人
発達がゆっくりな子ども への理解と生活援助	大阪府立大学名誉教授 小児科整形外科医 安藤 忠 氏	① 6/ 1(金)	103人
		② 6/15(金)	90人
発達障がい児(就学前)へ の神戸市のサポート体制 について	神戸市総合療育センター 石尾 陽一郎 氏	6/16(土)	83人
小中学校における発達障 がい児への支援体制	神戸祇園小学校長 松村 幹也 氏	6/23(土)	119人
発達障がいの理解と合理的 配慮について	大阪教育大学名誉教授 竹田 契一 氏	7/15(土)	123人
音楽療法	音楽療法士 古川 和香子 氏	①10/27(土)	58人
		②10/27(土)	58人

TEACCH プログラム	エルムおおさか所長 井上 芳子 氏	① 1/12(土)	92人
		① 1/26(土)	78人
ソーシャルスキル トレーニング (SST)	大阪医科大学 LD センター 西岡 有香 氏	② 1/20(日)	93人

福祉等関係職員向け講座	講 師	と き	参加者数
作業療法	関西福祉科学大学教授 作業療法士 大歳 太郎 氏	① 6/ 2(土)	51人
		② 6/30(土)	49人
個別支援計画作成	関西福祉科学大学教授 作業療法士 大歳 太郎 氏	① 6/ 2(土)	48人
		② 6/30(土)	43人
インリアル・アプローチ	関西学研医療福祉学院 安井 千恵 氏 大阪府立生野聴覚支援学校(日本AFLM研究会事務局長) 河内 清美 氏 大阪府立大学 秋元 壽江 氏	① 6/23(土)	64人
		② 7/ 7(土)	26人
		③ 7/14(土)	53人
感覚運動	姫路大学教授 小河 晶子 氏	① 8/25(土)	31人
		② 9/ 1(土)	30人
		③ 9/ 8(土)	28人
言語療法 ①個別指導 ②集団指導	城陽市立ふたば園 言語聴覚士 松尾 育子 氏	① 9/29(土)	74人
		②10/ 6(土)	64人
発達検査	神戸親和女子大学教授 大島 剛 氏	①12/ 1(土)	75人
		②12/ 1(土)	75人

- ②児童発達支援事業所巡回支援（地域支援マネジメント事業） <児/こども家庭局>
 年々増加している身近で療育を受ける場である「児童発達支援事業所」や「放課後等デイサービス事業所」の療育を担う職員の専門性の維持・向上を目的として、平成26年度より巡回支援事業を実施している。希望事業所に作業療法士と当センター職員とが訪問し、支援を行う事業で、具体的な個別の児童の支援方法、個別支援計画の作成方法、事業所施設内の環境面の配慮や使用教材の工夫等について相談・助言をしている。
 平成27年度からは事業所から要望のあった研修会を年2回実施。
 *「放課後等デイサービス事業所」の巡回支援は平成28年度から

i) 巡回事業実績

年 度	巡回支援実施				研 修 会 講 師 巡 回 支 援 者
	事業所数	巡回回数	研 修 会		
			と き	参加者数	
平成26年度	7	7	—	—	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 矢野 寿代 氏
平成27年度	8	13	4月 18日(土)	11人	
平成28年度	26	26	10月 17日(土)	15人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 宍戸 聖弥 氏
			4月 16日(土)	33人	
平成29年度	28	28	9月 17日(土)	51人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 宍戸 聖弥 氏
			4月 15日(土)	18人	
平成30年度	25	25	9月 28日(木)	53人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 山之内 香織 氏
			4月17日(火)	50人	
平成30年度	25	25	9月 6日(木)	31人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 山之内 香織 氏
			4月17日(火)	50人	

ii)平成 30 年度実施状況

児童発達支援事業所（7ヶ所）

と き		巡 回 先	区
1	5月 29日(火)	こころんクラブ高羽	灘区
2	6月 5日(木)	六甲ふくろうの家	灘区
3	7月 3日(火)	こぼんはうすさくら神戸湊川教室	兵庫区
4	8月 28日(火)	バンビ&ポニー	垂水区
5	10月 16日(火)	のびのびりいふ	垂水区
6	12月 18日(火)	にこにこゆうゆう	灘区
7	2月 7日(火)	ハビー三ノ宮教室	中央区

放課後等デイサービス（18ヶ所）

と き		巡 回 先	区
1	5月 10日(木)	りとるジャングル	東灘区
2	5月 24日(木)	がじゅまる	垂水区
3	6月 14日(木)	もりのこみち	東灘区
4	6月 29日(金)	シュガー	兵庫区
5	7月 19日(木)	ひより	西区
6	7月 26日(木)	子どもみらいサポートアクシス	北区
7	8月 9日(木)	みらいキッズ	東灘区
8	9月 13日(金)	ぽっぷこーん	長田区
9	9月 27日(木)	ピリーブ白川台	須磨区
10	10月 25日(木)	マリアーノ御影	東灘区
11	11月 1日(木)	フログ	北区
12	11月 26日(月)	POMU	垂水区
13	12月 3日(月)	ピリーブ北須磨	須磨区
14	12月 6日(木)	ソレイユ・ムーブ	東灘区
15	1月 21日(月)	いっぽいっぽ山の街	北区
16	1月 31日(木)	あおば	東灘区
17	2月 13日(水)	みくり	長田区
18	2月 18日(月)	ポピー伊川谷南	西区

(2)おとな編

① 関係職員向け研修

<者/保健福祉局>

i)発達障害者相談窓口，居場所，地域生活支援センター，神戸市・区役所等職員対象

と き	講 師	場 所	参加者数
9月 14日(金) テーマ：刑事司法手続きと地域生活定着支援センターの役割	高島法律事務所 弁護士 荒井 雄一氏 兵庫県地域生活定着支援センター 所長 森 喜久男氏 主任相談員 益子 千枝氏	総合福祉センター	28人
10月 3日(水) テーマ：発達障害の理解を深める	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 井澤 信三氏	総合福祉センター	43人

ii)市保育士・各区保健師等対象

と き	講 師	場 所	参加者数
10月29日(月) テーマ:ペアレントプログラム	神戸学院大学心理学部心理学 科准教授 村山 恭朗氏	総合福祉センター	37人

発達障害者相談窓口職員対象

と き	講 師	場 所	参加者数
5月24日(木) テーマ:応用行動 分析による支援	関西学院大学 文学部総合心理科学科 教授 米山 直樹 氏	総合福祉センター	7人
3月20日(水) テーマ:応用行動 分析による支援	関西学院大学 文学部総合心理科学科 教授 米山 直樹 氏 他	関西学院大学	7人

②全市事例検討会

<者/保健福祉局>

「困難事例」「よくある事例」について全市レベルでの事例検討会を実施し、ケース理解を深める。
対象職員:発達障害者相談窓口,居場所,地域生活支援センター,神戸市・区役所等

と き	講 師	場 所	参加者数
2月27日(水)	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 井澤 信三 氏	総合福祉センター	21人

③窓口別研修会

発達障害者相談窓口が実施。居場所,就労推進センター,地域生活支援センター等関係機関職員が参加。

④関学発達障害者相談窓口巡回支援

4箇所の「発達障害者相談窓口」を巡回し、個別事例等を検討。

担当窓口	と き	講 師	参加人数
東部相談窓口	9月20日(木)	関西学院大学大学院 文学研究科受託研究員 廣瀬 眞理子 氏 ほか	2人
	1月17日(木)		2人
中部相談窓口	9月14日(金)		2人
	1月18日(金)		2人
北部相談窓口	9月20日(木)		2人
	1月14日(木)		2人
西部相談窓口	9月19日(水)		2人
	3月13日(水)		1人

⑤地域支援マネジメント事業

<者/保健福祉局>

発達障害に知見や専門的知識を有する職員等により、思春期事業等へのスーパーバイズを実施し、関係機関職員及び事業所等のスキルアップを行い、利用者支援の充実を図る。

思春期事業カンファレンス

と き	講 師	場 所	参加者数
4月 21日(土)	神戸大学大学院 保健学研究科助教 (作業療法士) 篠川 裕子 氏	総合福祉センター	6 人
9月 29日(土)			5 人
2月 16日(土)			5 人

- ⑥個別要請にもとづく講師派遣の他、研修会の実施 <児・者共通/こども家庭局・保健福祉局>
 発達障害児者に係る支援機関を対象とした研修を関係機関と調整しながら実施していく。
 その他、関係機関・福祉施設や福祉団体や保護者グループ等からの要請による研修を随時実施する。

と き	対象者等	講 師	場 所	参加者数
5月 30日(水)	精神保健支援者(基礎研修)	発達障害者支援センター長	総合福祉センター	87 人
6月 6日(水)	障害福祉部門 新任職員	発達障害者支援センター長	総合福祉センター	49 人
8月 2日(木)	関学大学実習生	発達障害者支援センター長	総合福祉センター	2 人
9月 7日(金)	生活保護新任職員	発達障害者支援センター長	総合児童センター	65 人
9月 11日(火)	福祉職新採生活 保護担当職員	発達障害者支援センター長	総合福祉センター	9 人
1月 21日(月)	保護課就労支援員	発達障害者支援センター長	市役所 3 号館	22 人
2月 15日(金)	中央区保護司	発達障害者支援センター長	中央区役所	40 人

- ⑦研修・セミナー等参加(職員派遣)
 i)センター職員の参加

<児・者共通/こども家庭局・保健福祉局>

と き	名 称 等	場 所
4月 6日(金)	発達障がいシンポジウム世界自閉症啓発デー in OSAKA2018 ・パネリスト「発達障害への理解～ご家族の子育てから学ぶ～」 コーディネーター：大阪府発達障害支援センター長 松上 利男氏 パネリスト：ペアレントメンター ・講演会「発達障がいのある人の大学進学と合理的配慮～家族で進める自立への準備～」 講師：信州大学 学術研究院教育学系教授 高橋 知音氏	大阪府立男女共同参画・ 精神センター
4月 14日(土)	NPO 法人ビューアコスモ設立 15 周年記念講演会 「家族も、社会も。本人だけの問題じゃない。～幼児期から成人期まで 困難への対処法」 講師：鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座 教授 井上 雅彦氏	神戸市立勤労会館
6月 1日(金) ～ 2日(土)	全国発達障害者支援センター連絡協議会総会・実務者研修会 ・厚生労働省・文部科学省等より行政説明等 ・講演「地域での将来を見通した発達障害の早期支援」 講師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 客員研究員 神尾 陽子氏 ・シンポジウム「関連機関の有機的連携を目指して～各ステージを繋ぐ連続した支援のために～」	京都府民総合交流プラザ 京都テルサ
6月 9日(土)	第 2 回こども総合療育学寄附講座公開講座 気になる！ことばの発達 ・「乳幼児のことばの発達」 講師：神戸大学大学院こども総合療育部門特命助教 永井 正志氏 ・「発達障害とことばの遅れ」 講師：神戸大学大学院こども総合療育部門特命教授 西村 範行氏	神戸市立総合福祉センター

6月20日(水) ～22日(金)	平成30年度発達障害者支援センター職員研修会 ・「くせとこだわりの理解と対応」 講師：東京大学医学部附属病院こころの発達診療部長 金生 由紀子氏 ・「吃音症の理解と対応」 講師：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長 森 浩一氏 ・その他演習等	国立障害者リハビリテーションセンター
7月7日(土)	こころの日 講演会「大人の発達障害を考える～思春期からの発達障害の理解と支援～」 講師：鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊氏	神戸市水道局 たちばな研修センター
7月18日(木)	教育相談講演会「思春期の子ども心から～小児科医の立場から～」 講師：大阪府立医科大学附属病院小児科医 金 泰子氏	神戸市総合教育センター
8月7日(火)	ゲートキーパー研修(こども編)「こどものこころの病気について」 講師：神戸市児童相談所 精神科医 長谷川 弘子氏	神戸市総合福祉センター
8月8日(水)	第27回特別支援教育夏期集中セミナー「やがておとなになる君に今私たちができること～ライフスパンを見通した特別支援教育とは?～」 講師：大阪府立医科大学附属病院小児科医 金 泰子氏	神戸市立青陽須磨支援学校
8月10日(金)	第27回特別支援教育夏期集中セミナー「これからの通常の学級に在籍する発達障害のある子どもたちの教育～小・中学校の新学習指導要領を中心に～」 講師：文科省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 田中 裕一氏 「矯正教育の現場から」 講師：京都医療少年院法務教官 溝口 慎二氏	神戸市立青陽須磨支援学校
8月24日(金)	第45回兵庫情緒障害教育研究大会 一人ひとりの自立を支える連続した支援の充実をめざして フォーラムと記念講演「場面緘黙の理解と支援～保育・学校現場に期待すること～」 講師：筑波大学人間系・障害科学域教授 園山 繁樹氏	神戸市立勤労会館
9月17日(金)	NHKハートフォーラム「思春期発達障害の基礎理解と教育的支援」 ・「コミュニケーションが苦手な中学生の基礎理解と関わり方～自閉スペクトラム症の児童生徒を中心に～」 講師：大阪教育大学名誉教授 竹田 契一氏 ・「むかしは子どもだったあなたと考える、思春期の心のケア」 講師：大阪医科大学附属病院小児科医 金 泰子氏	オーバルホール
9月22日(土) 12月1日(土)	子育て支援・保育関連職のためのキャリアアップコース (ペアレント・プログラム)	神戸学院大学
10月20日(土)	神戸女子大学公開講座いきいき生きる -地球と生きる- ADHDってそういうことやったんやね ～発達障害の理解と支援～ 講師：神戸女子大学文学部教育学科准教授 谷山 優子氏	神戸女子大学 ポートアイランド キャンパス
11月14日(水)	心のバリアフリー講演会「泣いたり 笑ったり」 ～発達障害の双子とママの奮闘記～ 講師：イラストレーター 森山 和泉氏	神戸市立勤労会館
11月23日(金)	「兵庫県LD親の会 たつの子」勉強会 アンガーマネジメントの基本 ～怒り感情の理解とコントロール～ 講師：日本アンガーマネジメント協会本部講師 関西国際大学非常勤講師 中山 美佐子氏	神戸市青少年会館
12月1日(土)	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども総合療育学部門(寄附講座)公開講座 「気になる! 自閉スペクトラム症」 ・乳幼児の自閉スペクトラム症 講師：神戸大学大学院特命教授 西村 範行氏 ・学童期の自閉スペクトラム症 講師：神戸大学大学院特命助教 永井 正志氏	神戸市立 総合福祉センター
12月1日(土) ～2日(日)	発達障害・トラウマの臨床と養育者支援 講師 名古屋大学医学部附属病院 准教授 岡田 俊氏 福井大学子どものこころの発達センター客員教授 杉山 登志郎氏 福井大学子どものこころの発達センター教授 友田 明美氏 TFTセンター・ジャパン代表 国連 NGO-NOHE 人権大使 森川 綾女氏 九州大学人間環境学研究院准教授 山下 亜紀子氏	福岡ビル大ホール

12月9日(日)	発達障害に関する専門職研修「自閉スペクトラム症の医療的支援」 講師：京都大学大学院医学研究科教授 NPO 法人神経発達症研究推進機構 十一 元三氏	京都府立総合社会福祉会館 「ハートピア京都」大会議室
1月11日(金)	発達障害者支援センター全国連絡会議 役員会・懇親会(行政説明)	オフィス東京
1月18日(金)	大阪大学公開セミナー「青年期の発達障がいのある方への支援～高大接続における移行支援ギフト教育の視点から～」 ・講演 講師：浜松医科大学/福井大学客員教授 杉山 登志郎氏 ・シンポジウム 厚生労働省発達障害対策専門官 加藤 永歳氏 大阪大学全学教育推進機構教授 杉山 清寛氏 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター特任講師 諏訪 絵理子氏	佐治敬三メモリアルホール
2月2日(土)	神戸大学大学院保健学研究科地域連携センター報告会 ・講演 講師：篠山市保健福祉部健康課 山下 好子氏、堂東 美穂氏 ・事業報告 神戸大学大学院保健学研究科	神戸国際会館 701号
2月8日(金)	発達障害支援の地域連携に係る全国合同会議	厚生労働省
2月17日(日)	NHK 厚生文化事業団 ハートフォーラム「女性の発達障害」 ・講演とシンポジウム 女性の発達障害についての基礎知識と理解 講師：どんぐり発達クリニック院長 宮尾 益知氏 それでも人生に YES という～凸凹なところと身体を抱えて～ 講師：DDAC(発達障害をもつ大人の会) 代表 広野 ゆい氏 ADHDに翻弄された女性性を生きて 講師：神戸市発達障害定期相談員 笹森 理絵氏	オーバルホール
2月19日(火)	兵庫県立こころの医療センター市民セミナー「発達障害ってなんだろう?～特徴と関わり方～」 講師：精神科認定看護師 青木 周二氏	県立ひょうごこころの医療センター内 ひかりの森ホール
3月9日(土)	子どもセンター設立10周年記念講演会 発達に遅れや偏りのある子どもと家族への支援 講師：鳥取大学教授 井上 雅彦氏	関西学院大学 山川記念館
3月24日(日)	第20回南芦屋浜病院公開講座 発達障害のある子どもたちの育ちを支える～効果的で具体的な支援とは～ 児童期に必要な学習支援とは 講師：大阪教育大学名誉教授 竹田 契一氏 思春期・青年期に必要な支援とは 講師：大阪医科大学小児科医師 金 泰子氏	芦屋ルナホール

ii) 相談窓口職員の基幹障害者相談支援センター連絡協議会研修の参加

と き	テーマ	講師	場 所
12月18日(火)	事例検討会	松蔭女子大学大学院人間科学部心理学科 講師 榊原 久直氏	中部在宅障害者福祉センター
1月16日(水)	職員のメンタルヘルス		西部在宅障害者福祉センター
2月25日(月)	面接技法		総合福祉センター
3月15日(金)	発達検査の読み方		東部在宅障害者福祉センター

(3) 共通編

<児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局>

※兵庫県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修(※新規事業)

発達障害における早期発見・早期支援の重要性から、どの地域においても一定水準の発達障害の診療や対応が可能となるように、各地域の推薦する医療従事者が国主催研修を受講し、地域に戻って、かかりつけ医等医療従事者に対して、対応力向上研修を実施することにより、医療従事者の育成に取り組む。研修にあたっては、地域の医師会と連携し実施するものである。神戸市では、既に実施している兵庫県、県医師会の事業に、神戸市医師会とともに県市協調事業として共催実施する。

研 修	と き	講 師	場 所	修了者数
基礎研修	8月30日(木)	兵庫県立ひょうごこころの医療センター 院長 田中 究 氏	県医師会館 2階大会議室	112人
実践研修	10月25日(木)	兵庫県立子ども発達支援センター センター長 野中 路子 氏		39人

4. 市民啓発・広報事業

<児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局>

発達障害について市民の理解を深めるため、講演会の開催等により啓発活動を行った。

(1) 講演会

発達障害への正しい理解を深め、地域での支援を広げることを目的に、一般市民向け講演会を開催する。

と き	テーマ	講 師	場 所	参加者数
7月4日(水)	思春期年代の発達障害と心の病	京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 教授 十一 元三 氏	兵庫県看護協会 ハーモニーホール	337人 (520人申込)
11月19日(月)	発達障害の支援と就労 ～永く働くために必要な スキルとは?～	京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 社会福祉専攻 教授 佐々木 勝一 氏	兵庫県看護協会 ハーモニーホール	371人 (449人申込)
2月6日(水)	思春期の子どものケア ～発達障害のある子が 悩むこと～	大阪医科大学附属病院小児科 医師 金 泰子 氏	兵庫県看護協会 ハーモニーホール	393人 (476人申込)

(2) 出前トーク(市民向け啓発講座)

と き	対象者等	講 師	場 所	参加者数
5月8日(火)	発達がゆっくりな子を持つ 親の会 リボン	発達障害者支援センター	竹の台児童館	20人
7月23日(月)	障害福祉サービス事業所 「がじゅまるの木」	発達障害者支援センター	障害福祉サービス 事業所 プリウス	9人
9月6日(木)	発達がゆっくりな乳幼児と 親の会	発達障害者支援センター	有瀬児童館	20人
2月25日(月)	地域活動支援センター わかば	発達障害者支援センター	地域活動支援セン ター	10人

(3) パネル等展示

① 「世界自閉症啓発デー」(4月2日)及び「発達障害啓発週間」(4月2日～8日)に合わせ、「LIGHT IT UP BLUE JAPAN」等発達障害の市民啓発のためのパネル展示を実施。

期間:4月1日(水)～30日(木)の1か月間。

・さんちかアドウィンドー、さんちかギャラリー、ポスターコーナー等、神戸市生涯学習支援センターでパネル等展示。

・ライト・イット・アップ・ブルー2018実行委員会主催のイベント協力(ポスター等掲示・セレモニー開会市長あいさつ等参加)、2019実行委員会主催のイベント協力(3月14日～)

② 「ちょっと気になる…うちの子ども(子育て安心BOOK)」イオン子育て情報コーナーに設置。

(イオン神戸北店、ジェームス山店、垂水店、藤原台店、Umie店、神戸南店)

(4) 記事等掲載

- ①神戸市ニュータウン住民情報誌「ビバ！ニュータウン8月号vol.704(73,400部発行・配布)」に7/4開催の講演会講演内容を掲載。
- ②職員情報誌「あじさい通信11月1日号」に「11/19開催の発達障害支援講演会」,「あじさい通信11月1日号」に「2/6開催の講演会」参加募集記事,「世界自閉症啓発デー・発達障害週間」啓発記事を掲載。
- ③市民情報誌「しあわせの村だより」の11・12月号No.199に「11/19開催の発達障害支援講演会」参加募集記事,3・4月号No.201に「世界自閉症啓発デー・発達障害週間」啓発記事を掲載。

(5) ホームページ等

センター主催及び関係機関の研修会・講演会案内、発達障害QA、相談窓口、発達障害関係コラム、関係機関リンク等を掲載し、ホームページの充実等市民や支援者に役立つ情報発信を行う。

(6) 啓発冊子等

発達障害者支援センターの啓発冊子等を随時印刷、配布し、相談窓口等の広報を行うなど、市民向け啓発の実施。

- ①世界自閉症啓発デーリーフレット作成(1,000部)、ティッシュペーパー作成(3,000部)、クリアファイル購入(1,000部)
- ②相談窓口リーフレット増刷(2,000部)

令和元年度 発達障害者支援センター事業実施（進捗）状況

1. 支援機関とのネットワークの構築・運営

＜児・者共通/こども家庭局・保健福祉局共通＞

先駆的な事業を実施している大学、医療機関、親の会、民間団体等も含め、発達障害支援に関わる関係機関とのネットワークを構築し、これら関係機関との協働により各種の事業を展開している。

(1) 神戸市発達障害児（者）支援地域協議会（代表者会）の開催

学識経験者・親の会・支援機関等の関係機関のご意見をいただく場として開催した。

日時：令和元年7月26日（金）14:00～16:00

場所：たちばな研修センター3階研修室

内容： ・平成30年度神戸市発達障害者支援センター事業報告
 ・令和元年度神戸市発達障害者支援センター事業計画
 ・発達障害児（者）支援事業

(2) 連絡会の開催（出席）

＜児・者共通/こども家庭局・保健福祉局＞

① 相談等支援機関との連絡会

「相談窓口連絡会（窓口所長会）」

4回/年

「相談窓口相談員連絡会」

12回/年

「地域センター連絡・調整会議（六者会）」

12回/年

「神戸地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議」

2回/年

「発達障害者支援センター全国連絡協議会・近畿ブロック会」

2回/年

※平成30年度・令和元年度、近畿ブロック代表幹事に就任

② 神戸市医師会との連絡会

「神戸市医師会子育て支援委員会」

数回/年

③ その他関係部局との連絡会

「障害者施策推進協議会」

数回/年

「中央区行政機関連絡会議」

3回/年

「総合児童センター運営委員会・療育指導部会」

2回/年

「療育ネットワーク会議」

数回/年

「精神保健懇話会」

3回/年

「こうべ学びの支援連絡調整会議」

1回/年

「人権教育・啓発推進本部ネットワーク部会」

1回/年

「兵庫県立こども発達支援センター市町連絡会」

1回/年

「兵庫県発達障害者支援協議会」

2回/年

「保護観察所等連絡協議会」

1回/年

2. 当事者・家族支援

(1) こども編

① ペアレントメンターの活用

＜児/こども家庭局＞

親の会と連携しながら、ペアレントメンター養成のための研修会を実施。

と き	講 師	場 所	参加者数
12月(予定)	三田谷治療教育院	総合福祉センター	人

② ペアレントトレーニングとサポートブック普及・啓発事業

＜児/こども家庭局＞

i) ペアレントトレーニング

「してほしくない行動」や「してほしい行動」といったこどもの行動に焦点をあて、具体的にどのような対応ができるかを学習していくプログラム。小学3年生までの保護者を対象に、家庭内の環境整備や言葉かけなどについて講座とグループワークを中心に学ぶ。

ペアレントトレーニングを実施する中でサポートブックもテーマに取り上げ、作り方のコツや実際に渡す際の留意点を学ぶ。

家庭養育講座（前期 就学前児童，後期 小学1～3年生） 6回×2コース 各コース10人程度

と き		講 師	場 所	参加者数
前期	5月10日(金), 5月17日(金), 5月31日(金) 6月14日(金), 6月28日(金), 7月12日(金)	三田谷治療 教育院	総合福祉 センター	① 10人② 9人③ 8人 ④ 8人⑤ 10人⑥ 8人
	フォローアップ研修：10/25(金)			人
後期	1月10日(金), 1月17日(金), 1月31日(金) 2月14日(金), 2月28日(金), 3月13日(金)			① 人② 人③ 人 ④ 人⑤ 人⑥ 人
	フォローアップ研修実施予定：			人
平成30年度後期受講者 フォローアップ研修：6月21日(金)				6人

北区発達障害児支援教室(きたキッズ3)

と き	講 師	場 所	参加者数
11月(予定)	発達障害者支援センター	北区役所	人

- ii) サポートブック普及・啓発 <児/こども家庭局>
 小学校就学時にサポートブックを通じて今までの支援者（保育所等）が発信する情報と新たな支援者（小学校）が受け取りたい情報が合致するよう、普及・啓発事業を実施。

サポートブックの作り方 出張講座

と き	講 師	場 所	参加者数
7月19日(金)	発達障害者支援センター	まるやま学園	43人
12月(予定)	発達障害者支援センター	のぼら学園	人

- ③ 祖父母向け講座の実施 <児/こども家庭局>
 近年発達障害児の祖父母からの相談依頼が増えている。そこで概ね就学前～小学校3年生位までの発達障害の孫を持つ祖父母を対象とした基礎講座を実施。

2回×1コース

と き	講 師	場 所	参加者数
11月 5日(火) 11月 19日(火)	関西福祉科学大学 教育学部教育学科 准教授 加藤 美朗 氏	総合福祉センター	① 人 ② 人

- ④ 家庭療育講座「パパママサポートセミナー」 <児/こども家庭局>
 発達障害の特性を持つ子どもの保護者を対象とした子育て講座。両親が一緒に参加する事で、より深い学びと理解の共有を目指す。
 親自身が子どもへの関わり方について振り返り、新たな関わり方を身につけていくことを目標として、専門家のアドバイスを受けながら、子どもの「しんどさ」への理解を深め、同じ悩みを持つ親同士で話し合い、練習し、家庭で実践・応用できるよう具体的に学ぶ。

5回×1コース 概ね小学生校3年生までの発達障害児(未診断を含む)の両親約6組12人

と き	講 師	場 所	参加者数
10月12日(土), 10月26日(土) 11月 9日(土), 11月30日(土) 12月14日(土)	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 准教授 嶋崎 まゆみ 氏	総合福祉センター	① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

- ⑤発達障害児家族支援事業 <会場：総合児童センター> <児/こども家庭局>
 発達の気がかりな子を持つ保護者の悩みを和らげ、保護者が子どもの特性を理解し、適切な養育ができるように、家族支援事業を実施する。
 家族支援講座7回、児童と保護者 10組 10:00～12:00

日 程	テ ー マ	場 所	講 師
11月7日(木)	オリエンテーション・自己紹介・おはなし	総合児童センター	神戸親和女子大学 発達教育学部 教授 大島 剛氏
11月14日(木)	お話①「子どもの発達について1」		
11月21日(木)	お話②「子どもの発達について2」		
11月23日(土)	ファミリーデイ「親子であそぼ！」		
11月28日(木)	お話③「家庭生活について」		
12月5日(木)	お話④「集団生活について」		
12月12日(木)	ふりかえりとまとめ 修了式		

- ⑥大学と連携した支援事業 <児/こども家庭局>
 地域支援教室(神戸市社会福祉協議会への補助事業)
 発達障害児の療育プログラムや家庭支援プログラム、専門研修プログラム等を地域の身近な場所で開催し、発達障害児やその家族、支援者の支援事業を神戸大学と連携して行う。
 対象：3歳以上就学前の発達の気になる子どもと保護者
 i)親支援教室及び一時保育(すまいるぽっとらっく)の実施状況

会場：青陽須磨支援学校

日 程	プログラム	講 師	参加者数		
			講習	託児	ボランティア
4月13日(土)	「睡眠、運動、コミュニケーション、 拘り」	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲氏	16人	9人	12人
5月11日(土)	「レジリエンスプログラム① 一緒に 2020年度のレジリエンスダイアリーを 作りましょう」	神戸大学大学院保健学科研究科 研究員 中塚 志麻氏	14人	11人	11人
6月8日(土)	「発達障がいのお子様の動きづくり の取り組み」	NPO.法人アスロン 代表 井原 一久氏	11人	7人	12人
7月13日(土)	「発達を促す遊びを通じた作業療法 士の支援」	関西医療大学 教授 大歳太郎氏	18人	14人	20人
8月4日(日)	「思春期を見据えて」	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲氏	人	人	人
	「通級について」	神戸市教育委員会特別支援教育課 学びの支援センター 指導主事 菊池 貴史氏			
	「来春 初めての卒業生 進路、成長」	兵庫県立西神戸高等特別支援学校 進路指導部長 兼 特別支援教育コーディネーター 式部 義信氏			
9月14日(土)	「レジリエンスプログラム②」	神戸大学大学院保健学科研究科 研究員 中塚 志麻氏	人	人	人
10月12日(土)	「細く長く子育て支援」	ぽっとらっく 保育士 高村祥子氏	人	人	人
11月9日(土)	「レジリエンスプログラム③」	神戸大学大学院保健学科研究科 研究員 中塚 志麻氏	人	人	人
12月14日(土)	「クリスマス会」	(ぽっとらっく 保育士)	人	人	人
2月8日(土)	「未定」	神戸大学大学院保健学科研究科 助教授 篠川 裕子氏	人	人	人
3月14日(土)	「レジリエンスプログラム④」	神戸大学大学院保健学科研究科 研究員 中塚 志麻氏	人	人	人
合 計		11回	人	人	人

ii) 専門療育プログラム：個別支援教室「星の子」の実施状況

会場：たかとり児童館、総合児童センター7階研修室

日 程	内 容		参加者数					
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア				
上半期 4月～9月	4月10日(水)	検査・面談	2組	12人				
	5月17日(水)	検査・面談						
	毎週水曜日 5月 8・15・22 日 6月 5・12・19・26 日 7月 3・10・24・31 日 8月 7・21・28 日 9月 4 日 計 15回	専門療育プログラム教室	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	延 26組 (5・6月計)	延 78人 (5・6月計)			
	5月29日(木)	親子のためのプログラム (おしゃべり会)				星の子スタッフ 三島 佳代子 氏	8人	1人
	7月17日(水)						5人	1人
	9月18日(水)						人	人
	5月29日(木)	支援者講座 (星の子勉強会)				星の子スタッフ 松井 潤子 氏	17人	1人
	7月17日(水)						19人	1人
	9月18日(水)						人	人

日 程	内 容		参加者数					
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア				
下半期 10月～3月	10月16日(水)	検査・面談	組	人				
	10月23日(水)	検査・面談						
	毎週水曜日 11月 6・13・20 日 12月 4・11・18 日 1月 8・15・22・29 日 2月 5・19・26 日 3月 5・12・19 日 計 15回	専門療育プログラム教室	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	延 組	延 人			
	11月27日(水)	親子のためのプログラム (おしゃべり会)				星の子スタッフ 松井 潤子 氏 三島 佳世子 氏	人	人
	2月12日(水)						人	人

iii) 自閉症学習会の実施状況

会場：神戸市総合児童センター

日 程	内 容		参加者数	
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア
5月16日(木)	学集会 自閉症ってどんな障害？	元養護学校教員 山根 弘子 氏	13人	6人
5月28日(火)	コミュニケーションの力をつけよう ～視覚支援の意味と方法～		17人	9人
6月21日(金)	ソーシャルスキルを身につけよう		25人	14人
7月4日(木)	不適応行動にこめられたメッセージ		27人	14人
9月26日(木)	自立をめざして ～今すべきこと～		人	人

日 程	内 容		参加者数	
	テーマ	講 師	参加者	スタッフ・ボランティア
11月 日(木)	コミュニケーションの力をつけよう ～視覚支援の意味と方法～	元養護学校 山根 弘子 氏	人	人
12月 日(金)	ソーシャルスキルを身につけるために ～障害特性に合わせた支援～		人	人
2月 日(木)	不適応行動にこめられたメッセージ		人	人
3月 日(金)	自立を目指して ～自己選択・ 自己決定の力をつけよう～		人	人

⑦県と協働した医療・療育環境の充実

<児/こども家庭局>

県立こども発達支援センターの窓口として、利用に係るインテークや利用後のフォロー等、円滑な利用を可能とする連携を行う。(相談受付・情報聴取・勘案後、事前協議として県に繋ぐ。)

電話受付件数

年度	件数 (件)
平成24年度(6/11から開始)	40
平成25年度	17
平成26年度	26
平成27年度	10
平成28年度	9
平成29年度	8
平成30年度	7
令和元年度(6月末現在)	8

(2)おとな編

①発達障害者相談窓口

<者/保健福祉局>

i)実施概要

発達障害者が身近な場所で相談できる窓口として、市内4か所で発達障害者相談窓口事業を実施。当事者が地域でより快適な生活を送れるよう、日常生活、就労、医療、教育など多岐にわたり相談支援をしている。個々のニーズに応じた支援計画の作成と継続的な支援とともに、各関係機関と連携を取り支援を行っている。対象者は市内在住の15歳以上(平成28年度までは18歳以上)の未診断を含む発達障害者とその家族。平成25年度には西部相談窓口、平成26年度には東部及び中部相談窓口、平成27年度には北部相談窓口に関連強化員(コーディネーター)を1名拡充配置し、平成28年度より各窓口とも2名体制となっている。なお、平成30年度には、しごとサポートの圏域に合

わせて、中部相談窓口に「須磨区全域」をカバーするよう圏域を一部変更している。

ii) 委託先・地域（平成 21 年 7 月～）

- 1) 東部相談窓口（新緑福祉会）：東灘区、灘区
- 2) 中部相談窓口（神戸聖隷福祉事業団）：中央区、兵庫区、長田区、須磨区
- 3) 北部相談窓口（かがやき神戸）：北区
- 4) 西部相談窓口（すいせい）：垂水区、西区

<延相談件数> (件)

年度 \ 窓口	東部	中部	北部	西部	計
平成 21 年度 (7 月～)	495	379	706	633	2,213
平成 22 年度	793	791	786	870	3,240
平成 23 年度	960	586	722	962	3,230
平成 24 年度	974	527	821	860	3,182
平成 25 年度	684	502	1,046	1,138	3,370
平成 26 年度	906	547	971	1,386	3,810
平成 27 年度	941	664	1,005	1,405	4,015
平成 28 年度	959	914	1,159	1,091	4,123
平成 29 年度	707	876	1,133	1,006	3,722
平成 30 年度	1,147	1,155	940	862	4,104
令和元年度 (5 月末現在)	260	211	143	216	830

② 発達障害者居場所づくり事業

<者/保健福祉局>

i) 実施概要

発達障害者の身近な居場所として、市内 4 か所（3 か所は月 1 回開催、1 か所は毎日型）で発達障害者居場所事業を実施。発達障害者が日常生活や職場での生きづらさから解放され、ほっとできる場を提供するとともに、ゲームや外食会などのリクリエーションや就労・生活技術のスキルアップをめざすプログラムを実施。毎日型の居場所は、SST のプログラムや相談を行っている。対象者は発達障害者相談窓口を通じて紹介された市内在住の 18 歳以上の発達障害者。

ii) 月 1 回型居場所事業の委託先（平成 21 年 7 月～）

- 1) あんずのつどい（木の芽福祉会）
- 2) ひだまりのつどい（かがやき神戸）
- 3) ハーモニーのつどい（すいせい）

(件)

年度 \ 居場所	あんず	ゆめの (24年9月まで)	ひだまり	ハーモニー	計
平成 21 年度 (7 月～)	28	63	13	69	173
平成 22 年度	61	83	25	60	229
平成 23 年度	59	78	22	111	270
平成 24 年度	53	47	23	63	186
平成 25 年度	45	-	33	97	175
平成 26 年度	61	-	20	83	164
平成 27 年度	121	-	29	58	208
平成 28 年度	56	-	35	49	140
平成 29 年度	81	-	27	60	168
平成 30 年度	90	-	24	52	166
令和元年度 (6 月末)	18	-	11	5	34

iii) 毎日型居場所事業の委託先 (平成 24 年 10 月～)

1) ゆめののつどい (神戸光有会) (件)

年度	居場所 ゆめの (24 年 10 月～)
平成 24 年度	417
平成 25 年度	457
平成 26 年度	584
平成 27 年度	514
平成 28 年度	1,151
平成 29 年度	1,257
平成 30 年度	1,127
令和元年度 (6 月末現在)	239

③ 更生相談所の診断

< 者/保健福祉局 >

「発達障害者相談窓口」からの依頼に基づき、相談や判定を実施。嘱託医師を配置して診断を実施。
(件)

年度	窓口	東部	中部	北部	西部	計
平成 21 年度 (7 月～)		1	5	1	10	17
平成 22 年度		5	6	4	15	30
平成 23 年度		10	10	2	23	45
平成 24 年度		8	5	3	30	46
平成 25 年度		8	3	0	24	35
平成 26 年度		6	10	2	18	36
平成 27 年度		2	5	0	14	21
平成 28 年度		2	4	1	16	23
平成 29 年度		0	1	1	9	11
平成 30 年度		2	5	1	11	19
令和元年度 (6 月現在)		0	0	0	3	3

④ 当事者向け SST 「グループセッション」の実施

< 者/保健福祉局 >

発達障害者相談窓口を利用中で、就労を目指す当事者の方を対象にした SST (ソーシャルスキルトレーニング) を実施。就労や社会生活場面で必要なコミュニケーションスキルについて、講義やロールプレイを通して学ぶことを目的とする。

5 回×2 コース 各コース 10 名程度

と き	講 師	場 所	参加者予定数
5月28日(火), 6月11日(火) 6月25日(火), 7月9日(火) 7月23日(火)	三田谷治療教育院	総合福祉センター	① 6 人 ② 6 人 ③ 5 人 ④ 6 人 ⑤ 人
10月15日(火), 10月29日(火) 11月12日(火), 11月26日(火) 12月10日(火)			① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

(3) 思春期・青年期編

① 思春期・青年期発達支援事業

<者/保健福祉局>

対象者：概ね 13 歳～18 歳(高校卒業者を除く)の本人とその保護者<会場：総合福祉センター>

i) あっとらんど (思春期発達相談室)

臨床心理士の面談により相談支援を行う。

ii) Be・ユース

作業療法士が個別に本人サポートし、各自の特徴と向き合っ具体的目標を立て、その目標に向かって様々な活動を行い、就労、自立生活に必要な日常生活のスキルの向上を図る。

あっとらんど実績

年度	あっとらんど (件)		場所
	新規相談件数	延件数	
平成 23 年度	28	93	発達障害者 支援センター
平成 24 年度	22	166	
平成 25 年度	13	109	
平成 26 年度	6	64	
平成 27 年度	41	115	
平成 28 年度	59	188	
平成 29 年度	29	200	総合福祉センター
平成 30 年度	27	172	
令和元年度(6月現在)	4	43	

Be・ユース実績

年度	Be・ユース		場所
	参加者数(人)	実施回数(回)	
平成 23 年度	36	35	発達障害者 支援センター
平成 24 年度	182	65	
平成 25 年度	165	53	
平成 26 年度	65	20	
平成 27 年度	51	22	
平成 28 年度	74	22	
平成 29 年度	75	21	総合福祉センター
平成 30 年度	119	22	
令和元年度(6月現在)	13	6	

		平成 23 ～25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 ～30 年度	令和元年度
		(国事業)	(市事業)			
あっとらんど 【対応者】 臨床心理士	実施日	毎週火・木・土	第1・3の土	第2・4の土	第2・4の火・土	
	対応者人数	火・木1名, 土2名	1名	2名	火1名, 土2名	
	対象年齢	15歳～18歳			13歳～18歳	
Be・ユース 【対応者】 作業療法士	実施日	毎週火・土	月1～3回土	第2・4の土	第2・4の土	
	対応者人数	1名	1名	1名	1名	
	対象年齢	原則15歳～18歳(22歳まで延長可)				13歳～18歳

*平成26年度まで「あっとらんど」の相談は、Be・ユースにかかるものに限定していた。

②思春期年代当事者向けSST「グループセッション」の実施

<児/こども家庭局>

夏休み期間を利用して、中高生を対象にしたSSTを実施。学校生活や社会生活場面で必要なコミュニケーションスキルについて、講義やロールプレイを通して学ぶことを目的とする。

5回×1コース 約8名

と き	講 師	場 所	参加者数
7月26日(金), 8月 2日(金) 8月 9日(金), 8月23日(金) 8月30日(金) 9月20日(金)*	三田谷治療教育院	総合福祉センター	① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

*保護者へのフィードバック

※③大学生の当事者向けSST「グループセッション」の実施(※新規事業)

<者/保健福祉局>

夏季及び冬季休みを利用して、コミュニケーションなどに苦手意識を持っている大学生や大学院生を対象にしたSSTを実施。他の人とうまくやってくれるために必要なシンプルなルールや、他の人の気落ちに振り回されないための考え方を学ぶことを目的とする。医師によるメンタルヘルスの講義も併せて行う。

と き (夏季)	講 師	場 所	参加者数
8月 (予定)	社会福祉法人すいせい 神戸市精神保健福祉 センター嘱託医師 三好 彩 氏	総合福祉センター	① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

と き (冬季)	講 師	場 所	参加者数
2月 (予定)	社会福祉法人すいせい 神戸市精神保健福祉 センター嘱託医師 三好 彩 氏	総合福祉センター	① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

④青年期発達障害者支援事業

(家族のコミュニケーションスキルアップトレーニング)

<者/保健福祉局>

当事者とその家族を対象にした各種支援事業を実施する。具体的には、青年期以降の当事者家族を対象にした「大人版ペアレントトレーニング」を実施する。

4回×2コース 1コース10人程度

と き	講 師	場 所	参加者数
4月18日(木), 4月25日(木) 5月16日(木), 5月23日(木)	関西学院大学大学院 文学研究科 受託研究員 廣瀬 真理子 氏ほか	総合福祉センター	① 8人 ② 8人 ③ 8人 ④ 7人
10月24日(木), 11月 7日(木) 11月21日(木), 12月 5日(木)			① 人 ② 人 ③ 人 ④ 人 ⑤ 人

ブラッシュアップセミナー

と き	講 師	場 所	参加者数
9月19日(木) *30年度以前受講生	関西学院大学大学院 文学研究科 受託研究員 廣瀬 真理子 氏ほか	総合福祉センター	人
12月 5日(木) *元年度前期受講生			人
3月17日(火) *元年度後期受講生			人

3. 人材育成

(1) こども編

① 発達障害支援者サポート事業

<児/こども家庭局>

「発達クリニック」での知見やノウハウを生かして、保育所、幼稚園、児童館や児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を含めた福祉施設職員を対象に研修し、現場で直接発達障害児の処遇に係る職員の資質向上を図ることにより、早期発見・早期支援を推進した。加えて、一部の講座を市民向けに公開することにより、市民に対しても一層の理解の促進を図り、地域での支援拡充を推進する。

総回数 26回

《会場：総合児童センター》

市民向け講座	講師	とき	参加者数
発達が気になる子どもと家族への支援のあり方	神戸市総合療育センター診療所長 高田 哲 氏	① 5/11(土)	109人
		② 5/11(土)	105人
発達がゆっくりな子どもへの理解と生活援助	大阪府立大学名誉教授 小児科整形外科医 安藤 忠 氏	① 6/14(金)	88人
		② 6/28(金)	89人
小中学校における発達障がい児への支援体制	前こうべ学びの支援センター長 松村 幹也 氏	7/ 6(土)	97人
音楽療法	音楽療法士 古川 和香子 氏	① 10/26(土)	人
		② 10/26(土)	人
発達障がいの理解と合理的配慮について	大阪教育大学名誉教授 竹田 契一 氏	11/16(土)	人
発達障がい児の思春期の支援について	大阪医科大学付属病院 金 泰子 氏	12/ 7(土)	人
ソーシャルスキルトレーニング (SST)	大阪医科大学 LDセンター 西岡 有香 氏	1/13(月)	人
TEACCH プログラム	エルムおおさか所長 井上 芳子 氏	① 2/ 8(土)	人
		② 2/15(土)	人

福祉等関係職員向け講座	講師	とき	参加者数
作業療法	関西医療大学教授 作業療法士 大歳 太郎 氏	① 6/ 1(土)	46人
		② 6/29(土)	38人
個別支援計画作成	関西医療大学教授 作業療法士 大歳 太郎 氏	① 6/ 1(土)	42人
		② 6/29(土)	29人
インリアル・アプローチ	日本インリアル研究会 永安 香 氏 河内 清美 氏 秋元 壽江 氏	① 6/15(土)	70人
		② 6/22(土)	69人
		③ 7/ 6(土)	59人
感覚運動	姫路大学教授 小河 晶子 氏	① 8/24(土)	人
		② 8/31(土)	人
		③ 9/ 7(土)	人
言語療法 ①個別指導 ②集団指導	城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 氏	① 9/28(土)	人
		② 10/ 5(土)	人
発達検査	神戸親和女子大学教授 大島 剛 氏	① 11/30(土)	人
		② 11/30(土)	人

② 児童発達支援事業所巡回支援（地域支援マネジメント事業）

<児/こども家庭局>

年々増加している身近で療育を受ける場である「児童発達支援事業所」や「放課後等デイサービス事業所」の療育を担う職員の専門性の維持・向上を目的として、平成26年度より巡回支援事業を実施している。希望事業所に作業療法士と当センター職員とが訪問し、支援を行う事業で、具体的な個別の児童の支援方法、個別支援計画の作成方法、事業所施設内の環境面の配慮や使用教材の工夫等について相談・助言をしている。

平成27年度からは事業所から要望のあった研修会を年2回実施。

* 「放課後等デイサービス事業所」の巡回支援は平成28年度から

i) 巡回事業実績

年度	巡回支援実施				研修会講師 巡回支援者
	事業 所数	巡回 回数	研修会		
			とき	参加 者数	
平成 26 年度	7	7	—	—	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 矢野 寿代 氏
平成 27 年度	8	13	4月 18日(土)	11人	
			10月 17日(土)	15人	
平成 28 年度	26	26	4月 16日(土)	33人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 宍戸 聖弥 氏
			9月 17日(土)	51人	
平成 29 年度	28	28	4月 15日(土)	18人	
			9月 28日(木)	53人	
平成 30 年度	25	25	4月17日(火)	50人	神戸大学大学院保健学研究科 助教(作業療法士) 篠川 裕子 氏 作業療法士 山之内 香織 氏
			9月 6日(木)	31人	
令和元年度 (6月末現在)	4	4	4月16日(火)	39人	
			9月3日(火)	人	

ii) 令和元年度実施状況(6月末現在)

児童発達支援事業所(5ヶ所)

とき	巡回先	区
1 5月 21日(金)	たんぼぼ	中央区
2 6月 11日(火)	のびのびりーふ	垂水区
3 7月 23日(火)	ふくろう	兵庫区
4 8月 29日(火)	にこにこゆうゆう	灘区
5 9月 12日(火)	もも	灘区

放課後等デイサービス(10ヶ所)

とき	巡回先	区
1 5月 14日(木)	しらゆり	北区
2 6月 4日(火)	トレッペン	長田区
3 7月 2日(木)	TRAMP	長田区
4 7月 5日(金)	プラス	長田区
5 7月 25日(木)	シュピーレン	長田区
6 8月 1日(木)	ジャングルクラブ	東灘区
7 8月 6日(木)	おひさま	西区
8 8月 22日(木)	みらい	東灘区
9 8月 27日(火)	のぞみ	長田区
10 9月 24日(火)	ステッチ	西区

(2)おとな編

① 関係職員向け研修

<者/保健福祉局>

i) 発達障害者相談窓口, 居場所, 地域生活支援センター, 神戸市・区役所等職員対象

と き	講 師	場 所	参加者数
9月26日(木)	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 井澤 信三 氏	総合福祉センター	人

発達障害者相談窓口職員対象

と き	講 師	場 所	参加者数
4月11日(木) テーマ: 応用行動分析による支援方法と ケースフォーミュレーション	関西学院大学 文学部総合心理科学科 教授 米山 直樹 氏	総合福祉センター	10人
3月(予定)			

②全市事例検討会

<者/保健福祉局>

「困難事例」「よくある事例」について全市レベルでの事例検討会を実施し、ケース理解を深める。
対象職員：発達障害者相談窓口, 居場所, 地域生活支援センター, 神戸市・区役所等

と き	講 師	場 所	参加者数
2月 日	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 井澤 信三 氏	総合福祉センター	人

③窓口別研修会

発達障害者相談窓口が実施。居場所, 就労推進センター, 地域生活支援センター等関係機関職員が参加。

④関学発達障害者相談窓口巡回支援

4箇所の「発達障害者相談窓口」を巡回し、個別事例等を検討。

担当窓口	と き	講 師	参加人数
東部相談窓口	予定	関西学院大学大学院 文学研究科受託研究員 廣瀬 眞理子 氏 ほか	人
	予定		人
中部相談窓口	予定		人
	予定		人
北部相談窓口	予定		人
	予定		人
西部相談窓口	予定		人
	予定		人

⑥地域支援マネジメント事業

＜者/保健福祉局＞

発達障害に知見や専門的知識を有する職員等により、思春期事業等へのスーパーバイズを実施し、関係機関職員及び事業所等のスキルアップを行い、利用者支援の充実を図る。

思春期事業カンファレンス

と き	講 師	場 所	参加者数
7月 20日(土)	神戸大学大学院 保健学研究科助教 (作業療法士) 篠川 裕子 氏	総合福祉センター	人
月 日(土)			人
月 日(土)			人

⑥個別要請にもとづく講師派遣の他、研修会の実施

＜児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局＞

発達障害児者に係る支援機関を対象とした研修を関係機関と調整しながら実施していく。

その他、関係機関・福祉施設や福祉団体や保護者グループ等からの要請による研修を随時実施する。

と き	対象者等	講 師	場 所	参加者数
5月 13日(月)	泉台児童館職員 (ペアプロ)	発達障害者支援センター	泉台児童館	人
5月 29日(水)	障害福祉部門 新任職員職員研修	発達障害者支援センター長	職員研修所	80人
6月 6日(木)	精神保健支援者(基礎研修)	発達障害者支援センター長	総合福祉センター	93人
8月 23日(金)	インターシッ プ受入学生	発達障害者支援センター	総合福祉センター	1人
8月 27日(火)	関西福祉科学大学生 大阪府立大学生	発達障害者支援センター	総合福祉センター	2人
以下未定				

⑦研修・セミナー等参加(職員派遣)

＜児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局＞

i)センター職員の参加

と き	名 称 等	場 所
4月 12日(金)	兵庫県LD親の会「たつの子」講演会 ・講演「成人期の発達障害者の自立に向けて」 講師：NPO法人 DDAC (大人の発達障害をもつ大人の会) 代表 広野 ゆい 氏	神戸市男女共同参画 センター・セミナー室
5月 17日(金)	神戸市手をつなぐ育成会研修会 「行動障害のある人の「暮らし」をささえる」 講師：国立リハビリテーションセンター 発達障害支援推進官 加藤 清 氏	育成会館 4階
5月 18日(土)	日本ポジティブ行動支援ネットワーク研修会 in 大阪 ・入門セミナー「ポジティブ行動支援の導入に向けた応用行動分析の基礎的理解」 講師：大阪養育大学、APBS-J副会長 庭山 和貴 氏 ・応用セミナー「学校全体でポジティブ行動支援に取り組むために ～行動指導計画の作成と運用～」 講師：大阪樟蔭女子大学、APBS-J理事 田中 善大 氏 ・実践報告 「中学校におけるポジティブ行動支援 -地域とともに行うPBS」 報告者：大阪市立井高野中学校 谷川 雄一 氏 「地域で支える家族中心のポジティブ行動支援(Family-Centered PBS) -青年期発達障害者家族のための行動支援プログラムの開発-」 報告者：関西学院大学 廣瀬 真理子 氏	大阪教育大学天王寺 キャンパス西館
5月 23日(木)	灘区子育て講演会 「こどものこころと行動を理解して、子育てを楽しむ」 講師：兵庫県立大学大学院臨床心理学コース准教授 嶋崎 まゆみ 氏	灘区役所 5階

6月5日(水)	<p>第1回教育相談講演会及び個別面談 講演会「不登校をどうとらえ、どのように過ごすのか」参加者募集 -子の心、親の心、そして学校-</p> <p>講師：立命館大学経済学部教授 中村 健 氏</p> <p>第2回教育相談講演会及び個別面談会 講演会「発達障害の子どもの育ちを支える -学齢期を中心に-</p> <p>講師：武庫川女子大学非常勤講師 小児科医師 石川 美智子 氏</p> <p>第3回教育相談講演会及び個別面談 講演会「スマホ時代の子どもたちのために -ネット依存を中心に -」 講師：兵庫県立大学環境人間学部准教授 竹内 和雄 氏</p>	神戸市総合教育センター
6月12日(水)	<p>療育センター児童発達支援職員研修会 講演会「まあるい子育て 発達障がいのある子との関わりのコツ」 講師：クリーエーター 森山 和泉 氏</p>	神戸市総合福祉センター
6月14日(金) ～15日(土)	<p>全国発達障害者支援センター連絡協議会 総会・実務者研修会 講演会 「『そのらしさ』を生かす子育て～あなたがあなたであるために ～そしていま」 講師：ベック研究所 所長・医師 よしだ 友子 氏 「当事者からのメッセージ その人らしい生き方から学ぶ」 講師：ソルト氏</p>	横浜市開港記念会館
6月19日(水) ～21日(金)	<p>発達障害者支援センター職員研修会 ・厚生労働省・文部科学省等より行政説明等 ・講義 教育・福祉に関する課題の協議 発達情報・支援センターについて 発達障害者支援センター職員が知っておくべき医学的知識 発達障害者支援センター職員の役割と職員に求められる資質 相談支援の留意点(演習) 発達障害者支援センターにおける機関連携の基本(演習)</p>	国立障害者リハビリテーションセンター学院
7月6日(土)	<p>第2回教育相談講演会及び個別面接相談 講演会「発達障害の子どもの育ちを支える」 講師：武庫川女子大学非常勤講師 石川 道子 氏</p>	神戸市総合教育センター
8月6日(火) 8月9日(金)	<p>令和元年度 第28回特別支援教育夏期集中セミナー (1)子供の将来を見すえて「今」に取り組む-キャリア教育の視点から- 講師：関西国際大学 花熊 暁 氏 (2)授業のユニバーサルデザイン-特別支援教育の視点を生かした通常の学級の授業づくり・学級づくり- 講師：東京都立矢口特別支援学校 川上 康則 氏 (3)発達につまずきがある子供の輝かせ方 講師：東京都立矢口特別支援学校 川上 康則 氏 (4)見方が変われば願いが見える：目からウロコの素敵な実践から学ぶ 講師：神戸大学 赤木 和重 氏</p>	神戸市立青陽須磨支援学校
以下未定		

(3) 共通編

<児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局>

兵庫県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

発達障害における早期発見・早期支援の重要性から、どの地域においても一定水準の発達障害の診療や対応が可能となるように、各地域の推薦する医療従事者が国主催研修を受講し、地域に戻って、かかりつけ医等医療従事者に対して、対応力向上研修を実施することにより、医療従事者の育成に取り組む。研修にあたっては、地域の医師会と連携し実施するものである。神戸市では、既に実施している兵庫県、県医師会の事業に、神戸市医師会とともに県市協調事業として共催実施する。

研修	とき	講師	場所	修了者数
基礎研修	7月11日(木)	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏 神戸市子ども家庭局子ども育成部 家庭支援課医務担当課長 三品 浩基 氏	県医師会館 2階大会議室	77人
実践研修	10月24日(木)	兵庫県立ひょうごこころの医療センター 院長 田中 究 氏 兵庫県立子ども発達支援センター センター長 野中 路子 氏		40人

4. 市民啓発・広報事業

<児・者共通/子ども家庭局・保健福祉局>

発達障害について市民の理解を深めるため、講演会の開催等により啓発活動を行った。

(1) 講演会

発達障害への正しい理解を深め、地域での支援を広げることを目的に、一般市民向け講演会を開催する。

とき	テーマ	講師	場所	参加者数
8月25日(日)	学校における合理的配慮とは(発達障害の子どもたちの話題を中心に)	文部科学省特別支援教育 調査官 田中 裕一氏	ハーバーホール	(人 人申込)
11月8日(金)	「実は身近な発達障害」 ～ひとりひとりがあり のままに～地域で生き ること・私たちができる こと	川崎市自閉症協会 代表理事 明石 洋子氏	兵庫県看護協会 ハーモニーホール	(人 人申込)
2月(予定)				

(2) 出前トーク(市民向け啓発講座)

とき	対象者等	講師	場所	参加者数
7月8日(火)	親の会「りぼんの会」	発達障害者支援センター	竹の台児童館	17人
以下未定				

(3) パネル等展示

① 「世界自閉症啓発デー」(4月2日)及び「発達障害啓発週間」(4月2日～8日)に合わせ、「LIGHT IT UP BLUE JAPAN」等発達障害の市民啓発のためのパネル展示を実施。

期間：4月1日(水)～30日(木)の1か月間。

- ・さんちかギャラリー、神戸市生涯学習支援センター等でパネル展示、総合運動公園「花と緑のフェスタ(4/27)」及び「グリーンフェスタこうべ(10/5)」においてパネル展示と啓発クイズ・啓発ティッシュペーパーの配布。
- ・ライト・イット・アップ・ブルー2019実行委員会主催のイベント協力(ポスター等掲示・セレモニー参加)、啓発誌に掲示掲載。

- ②「ちょっと気になる…うちの子ども（子育て安心BOOK）」イオン子育て情報コーナーに設置。
（イオン神戸北店、ジェームス山店、垂水店、藤原台店、Umie店、神戸南店）

(4) 記事等掲載

- ①職員情報誌「あじさい通信」に「世界自閉症啓発デー・発達障害週間」、「発達障害支援講演会」の啓発記事を掲載。
②市民情報誌「しあわせの村だより」に「発達障害支援講演会」参加募集記事や「世界自閉症啓発デー・発達障害週間」啓発記事を掲載。

(5) ホームページ等

センター主催及び関係機関の研修会・講演会案内、発達障害QA、相談窓口、発達障害関係コラム、関係機関リンク等を掲載し、ホームページの充実等市民や支援者に役立つ情報発信を行う。

(6) 啓発冊子等の配布

発達障害者支援センターの啓発冊子等を随時印刷、配布し、相談窓口等の広報を行うなど、市民向け啓発の実施。

- ①世界自閉症啓発デーリーフレット、啓発ティッシュペーパー、啓発クリアファイル
②相談窓口リーフレットなど

神戸市発達障害児(者)支援地域協議会の
開催方法について (案)

1 協議会の開催方法

- (1) 代表者会として年度間に2回程度開催
- (2) 課題解決について、意見交換

2 スケジュール (予定)

- (1) 第1回地域協議会 代表者会：7月26日(金)
 - ・事業説明 (新規・変更のあった事業)
 - ・第2回協議会の討議テーマについて意見交換
- (2) 第2回地域協議会代表者会：11月～12月頃
 - ・討議テーマに関連する関係各課資料の事前提供
 - ・討議テーマについて意見交換
- (3) 第3回地域協議会代表者会
 - ・第2回の開催状況により、必要であれば2月～3月頃開催

3 第2回討議テーマ (案)

- ・連携について
 - 「つなぐ」・トランジット：乳幼児期から就学期、子どもから大人、など
- ・就労について
- ・生活支援について

※参考

兵庫県における部会：生活支援、医療、教育、ネットワーク

